

城北中学校北舎・昇降所棟外壁改修工事

図面リスト

意匠図							
A-01	改修特記仕様書(1)	A-11	北舎立面図1	A-21	昇降所棟立面図【参考図】	A-31	北舎・昇降所棟建具表4【参考図】
A-02	改修特記仕様書(2)	A-12	北舎立面図2・昇降所棟立面図1	A-22	昇降所棟断面詳細図	A-32	
A-03	改修特記仕様書(3)	A-13	北舎天井伏図1	A-23	北舎建具表1【参考図】	A-33	
A-04	改修特記仕様書(4)	A-14	北舎天井伏図2	A-24	北舎建具表2【参考図】	A-34	
A-05	付近見取図・配置図・仮設計画図	A-15	昇降所棟1階天井伏図	A-25	北舎建具表3【参考図】	A-35	
A-06	北舎1・2階平面図	A-16	昇降所棟2階天井伏図	A-26	北舎・昇降所棟建具配置図1【参考図】	A-36	
A-07	北舎3・4階平面図	A-17	北舎矩計図	A-27	北舎・昇降所棟建具配置図2【参考図】	A-37	
A-08	北舎屋上平面図	A-18	北舎屋外階段詳細図	A-28	北舎・昇降所棟建具表1【参考図】	A-38	
A-09	昇降所棟1階平面図【参考図】	A-19	昇降所棟1階平面詳細図【参考図】	A-29	北舎・昇降所棟建具表2【参考図】	A-39	
A-10	昇降所棟2階平面図【参考図】	A-20	昇降所棟2階平面詳細図【参考図】	A-30	北舎・昇降所棟建具表3【参考図】	A-40	

城北中学校北舎・昇降所棟外壁改修工事 特記仕様書		2026.04
項目	特記事項	
I 工事概要 1. 工事場所 高知市八反町1丁目8番14号 2. 工事種目 【北舎】 鉄筋コンクリート造 4階建て 延べ面積3,564.3㎡ 【昇降所棟】 鉄筋コンクリート造 2階建て 延べ面積514.7㎡ 1) 外壁改修 一式 2) 防水改修 一式 3. 関連工事等 ・電気設備工事 ・機械設備工事 ・ガス設備工事 ・昇降機設備工事 ・植栽工事 ・合併処理装置設置工事 ・外構工事 4. 概成工期 ・完成期限の()日(令和 年 月 日) 5. 部分使用(工事請負契約書第34条第1項) 令和 年 月 日からは、全ての室内部分を使用する。		
II 建築工事仕様 1. 特記仕様 1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。○印のつかない場合は、※印の付いたものを適用する。 ○印と※印の付いた場合は、共に適用する。 3) 特記事項に記載の()内表示番号は、「公共建築工事標準仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。 特記事項に記載の()内表示番号は、「公共建築改修工事標準仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。 特記事項に記載の()内表示番号は、「建築物解体工事共通仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。 2. 適用基準等 図面及び特記事項に記載されていない事項は、全て国土交通省(建設)大臣官房官庁管理課長の以下による。 ・公共建築工事標準仕様書(建築工事編) (令和4年版) ※公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編) (令和4年版) ※建築工事標準詳細図 (令和4年版) ・敷地調査共通仕様書 (令和4年版) ・建築物解体工事共通仕様書 (令和4年版) 3. 「週休2日制工事」の実施について ※対象 ○選択-I型 ・選択-II型 本工事は、工事着手日から工事完成日までの間の土曜日及び日曜日を現場の休日の基本とする 「週休2日制工事」の対象工事である。実施にあたっては高知市「週休2日制工事」実施要領 (営繕工事編)による。 (https://www.city.kochi.kochi.jp/soshiki/123/syukyuhutsuka.html) ・対象外(理由:) 4. 「昼番による作業不能日数」の実施について ※対象 ○見込んでいる(理由: ※過去のWBGT値に基づき算定した日数が0日のため) ○見込んでいない(理由: ※過去のWBGT値に基づき算定した日数が0日のため) ・対象外(理由:)		
項目	特記事項	
一般共通事項 ① 工事実績情報サービス(CORINS)への登録(請負金額500万円以上)(受注、変更、完成時) 登録の手続きについては、(一財)日本建設情報総合センターの「建設実績情報のコリンズ」テクリス登録等に関する規約)による。 [1.1.4] 2 総合工程表 原則、工事の着手に先立ち、別契約関連工事の受注者と協議し、受注者及び別契約関連工事の受注者連名による総合工程表を監督職員に提出する。 3 総合図 工事の施工に先立ち別契約関連工事の受注者と調整のうえ、総合図を作成し、監督職員の承諾を受ける。 [1.2.3] ④ 工事日誌 週ごとに工事の全般的な経過及び次週の工事予定を記載した日誌を監督職員に提出する。 [1.2.4] また、工事の経過が明確にわかる写真を貼付すること。 ⑤ 工事写真 工事写真は1版程度とし、工事の内容、日付等必要事項を記入し1部提出する。(A4版台紙) [1.2.4] 撮影方法は、「営繕工事写真撮影要領(令和5年版)」による。 デジタル工事写真の小黒板情報電子化の実施をする場合は、監督職員の承諾を受ける。 なお、実施については、国営建技第14号(令和5年3月1日付)「デジタル工事写真の小黒板情報電子化について」による。 ⑥ 下請負者の報告 各下請負者については下請負契約前に監督職員に報告する。 7 電気保安技術者 適用する。 [1.3.3] ⑧ 施工条件 施工日及び施工時間 ※1.3.5(1)(7)による。 [1.3.5] ・施工順序 ※ 図示 工事用車両の駐車場所及び資機材の置場所 ※ 仮囲内 ○ 図示 その他の施工条件 ○資機材の搬出入時には、専任の誘導員を配置する。その他の場合でも、工事関係車両(乗用車も含む)が敷地内を通行する際には必ず誘導員を配置し、公道まで徐行する。 ○登下校時間帯や休み時間等は車両の通行を中止する等必要な配慮をする。 ○図示(A-05) ⑨ 交通誘導警備員 交通誘導警備員を配置する場合は、原則として警備業法(昭和47年法律第117号)第4条による認定を受けた警備業者の警備員を配置することとし、建設作業員等の他職種の者を従事させないこととする。ただし、一時的な作業等で、安全確保に対処できると監督職員が認めたものについては、この限りでないものとする。 配置人員等 ・令和 年 月 日から令和 年 月 日までの間は 名常駐する。 ・作業日は 名常駐する。その他監督職員と協議し、適宜配置する。 ○監督職員と協議し、適宜配置する。		

項目	特記事項									
⑩ 工事安全計画書	配置人員の資格 ・1名以上/1班は交通誘導警備業務に係る検定合格者(1級又は2級)を配置する工事。 ※交通誘導に関し、1名以上/1班は専門的な知識及び技能を有する警備員等を配置する工事。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格</th> <th>資格要件</th> <th>配置人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1, 2級交通誘導警備員(交通誘導警備員A)</td> <td>交通誘導警備員に關して、公安委員会が学科及び実地試験を行い、専門的な知識及び技能を有するものと認められたもの</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>交通誘導に關し、専門的な知識及び技能を有する警備員等(交通誘導警備員B)</td> <td>警備業法における指定講習を受講したものの警備業法における基本的基礎教育及び業務別教育(警備業法第2条第1項第2号の警備業務)を現に受けているもので、交通誘導に關する警備業務に従事した期間(実務経験年数)が1年以上であるもの</td> <td>60人</td> </tr> </tbody> </table> なお、事前に監督職員に検定合格証の写し等の資格要件の確認できる資料を提出する。また、警備員等に変更が生じた場合は、速やかに監督職員に同様の資料を提出する。 建設工事公衆災害防止対策要綱及び建築工事安全施工技術指針を参考に、工事安全計画書を監督職員に提出する。 労働安全衛生法第30条第2項に基づき指名をする。	資格	資格要件	配置人数	1, 2級交通誘導警備員(交通誘導警備員A)	交通誘導警備員に關して、公安委員会が学科及び実地試験を行い、専門的な知識及び技能を有するものと認められたもの	人	交通誘導に關し、専門的な知識及び技能を有する警備員等(交通誘導警備員B)	警備業法における指定講習を受講したものの警備業法における基本的基礎教育及び業務別教育(警備業法第2条第1項第2号の警備業務)を現に受けているもので、交通誘導に關する警備業務に従事した期間(実務経験年数)が1年以上であるもの	60人
資格	資格要件	配置人数								
1, 2級交通誘導警備員(交通誘導警備員A)	交通誘導警備員に關して、公安委員会が学科及び実地試験を行い、専門的な知識及び技能を有するものと認められたもの	人								
交通誘導に關し、専門的な知識及び技能を有する警備員等(交通誘導警備員B)	警備業法における指定講習を受講したものの警備業法における基本的基礎教育及び業務別教育(警備業法第2条第1項第2号の警備業務)を現に受けているもので、交通誘導に關する警備業務に従事した期間(実務経験年数)が1年以上であるもの	60人								
⑪ 統括安全衛生管理義務者の指名	労働安全衛生法第30条第2項に基づき指名をする。									
⑫ 発生材の処理	産業廃棄物の運搬、処分等については、1.3.12により適切に処分するものとし、 [1.3.12] 事前に監督職員に処理計画書を提出する。 産業廃棄物の運搬、あるいは処分を他業者に委託する場合は、書面による委託契約を行い、処理計画書にその写しを添付する。 自己処分場での処分する場合は、その処分場が関係法令の規定に適合する旨の資料を提出し、監督職員の現地立会を受けたうえで承諾を得る。(積替・保管についても同様とする) 産業廃棄物の収集・運搬に当たっては、廃棄物の処理及び清掃に関する法律(以下廃棄物処理法という)施行令に基づく車両への表示及び書面の備え付けを行うこと。 また、産業廃棄物を搬出する車両について、処分場ごとに1台のみ写真撮影(現場搬出時及び処分場到着時)し、随時監督職員に報告する。 廃棄物処理法を遵守し、工期内に最終処分(埋立処分、海洋投入処分又は再生)を終了しなければならない。 また、産業廃棄物管理票(以下マニフェストという)により適正に処理されていることを確認するとともに、監督職員にそのE票の写しを提出する。 ただし、監督職員が認める場合を除き、工期内に中間処理業者への搬入が終了すればよいものとする。 この場合、マニフェストにより適正に中間処理業者に搬入されていることを確認するとともに、監督職員にそのB2票の写しを提出する。また、最終処分終了後速やかにE票の写しを提出する。 なお、廃棄物処理法に定める電子情報処理組織を使用する場合は別途協議する。 ・引渡しを要するもの() ・現場再利用を図るもの() ○再資源化を図るもの(※コンクリート ※コンクリート及び鉄から成る建設資材 ※木材 ※アスファルトコンクリート)									
⑬ 再生資源利用(促進)計画書及び実施書の提出(請負金額100万円以上)	再生資源利用(促進)計画書及び実施書を、建設副産物情報交換システム(コブリス・プラス)により作成し、提出は以下による。 a) コブリス・プラスについては、建設副産物情報センターのホームページ(https://kplus.jacic.or.jp)より、利用申請等を行うことができる。 b) 建設資材の利用量の大小や有無に関らず、紙に出力した再生資源利用計画書及び実施書(建設リサイクルガイドライン様式1)を、完成資料として監督職員に提出する。 c) 建設副産物の発生量及び搬出量の大小や有無に関らず、紙に出力した再生資源利用促進計画書及び実施書(建設リサイクルガイドライン様式2)を、完成資料として監督職員に提出する。 d) 受注者は再生資源利用(促進)計画書(現場掲示用様式)を工事現場の見やすい場所に掲げること。 e) 受注者は作成したデータを含め、再生資源利用(促進)計画書及び実施書を工事完成後5年間保存する。									
⑭ 工事の保険	工事請負契約後、速やかに工事目的物、工事材料等に生じる損害、第三者に及ぼした損害を補償する保険を締結する。保険期間は、工事着工のときから完成期限より24日後以降までの期間とする。 ※ 金銭的保証方式 ・有 ○無									
⑮ 契約保証	・有 ○無									
⑯ 前払金支出割合区分補正	・有 ○無									
⑰ 証明書書の提出(グリーン購入法)	「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(グリーン購入法)及び「高知県グリーン購入基本方針及び実施計画」に基づき、重点調達品目については、積極的に利用すること。なお、重点調達品目の中で木材・木材製品等においては、その原料とされる原木が生産された国における森林に関する法律に照らして合法なものを使用する。 木材・木材製品等については、県産木材納入証明書、県外産合法木材納入証明書を監督職員に提出すること。 [1.4.2]									
⑱ 石綿含有建材の調査	事前調査の報告 一定規模以上の工事は労働基準監督署と高知市に報告が必要となる [1.5.1] 事前調査範囲 ※ 改修範囲 貸与資料 ※ 有 (○)既存の設計図書 ○石綿含有分析調査表) 分析結果 【外部】リソド吹付: 含有無し 【外部】吹付タイル: 含有無し 分析調査 ※ 書面調査及び現地での目視調査の結果により、監督職員と協議する。 ・ 行う (調査建材使用部位) 調査建材名 検体数) 分析方法 ※ 定性分析 定性分析の結果により、定量分析を行う場合は監督職員と協議する。									

項目	特記事項																																						
⑲ 施工数量調査	調査範囲 ※ 図示 ○改修建物の外壁、軒天、パラペット [1.6.2] 調査方法 ※ 外部足場を使用した目視及び打診 破壊部分の補修方法 ※ 現状に復旧 外壁調査は、外壁改修フローに対する外壁面のひび割れ、浮き、欠損部、内部まで貫通したひび割れ及び雨漏りの有無についての位置及び数量(幅、長さ、面積)の調査を行う。 また、その調査の結果を立面図等に記載し集計表を添えて電子データと共に、監督職員に報告する。(必要に応じ写真等を添付する)																																						
⑳ 技能士及び技能資格者	※ 適用する (○: 一級, ●: 二級) [1.7.2][1.7.3] <table border="1"> <thead> <tr> <th>工事種別</th> <th>技能検定の作業の種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○仮設工事</td> <td>※ ●とび作業(又は足場組立作業主任者)</td> </tr> <tr> <td>・鉄筋工事</td> <td>※ ○鉄筋組立作業</td> </tr> <tr> <td>・コンクリート工事</td> <td>・ ○コンクリート圧送工作業 ・ ○型枠工作業</td> </tr> <tr> <td>・鉄骨工事</td> <td>※ ●とび作業</td> </tr> <tr> <td>・ブロック・ALCパネル工事</td> <td>・ ○コンクリートブロック工作業 ・ (単一)エーエルシーパネル工作業</td> </tr> <tr> <td>○防水工事</td> <td>・ ○アスファルト防水工作業 ○ウレタンゴム系塗膜防水工作業 ・ ○アクリルゴム系塗膜防水工作業 ・ ○合成ゴムシート防水工作業 ・ ○塩化ビニル系シート防水工作業 ・ ○セメント系防水工作業 ○ シーリング防水工作業 ・ ○改良アスファルトシートトーチ工法防水工作業 ・ ○FRP防水工作業</td> </tr> <tr> <td>・石工事</td> <td>※ ○石張り作業</td> </tr> <tr> <td>・タイル工事</td> <td>※ ○タイル張り作業</td> </tr> <tr> <td>・木工事</td> <td>※ ○大工工作業</td> </tr> <tr> <td>・屋根及びとび工事</td> <td>○かわらぶき ・ ●スレート工作業 ・ ○内外装板金作業</td> </tr> <tr> <td>・金属工事</td> <td>・ ○鋼製下土工作業 ・ (単一)金属製バルコニー工作業</td> </tr> <tr> <td>・左官工事</td> <td>※ ○左官作業</td> </tr> <tr> <td>・建具工事</td> <td>・ ○ビル用サッシ工作業 ・ ○木製建具製作 ・ ○ガラス工作業</td> </tr> <tr> <td>・カーテンウォール工事</td> <td>※ ○金属製カーテンウォール工作業</td> </tr> <tr> <td>・塗装工事</td> <td>※ ○建築塗装作業</td> </tr> <tr> <td>・内装工事</td> <td>・ ○プラスチック系床仕上げ工作業 ・ ○壁装作業 ・ ●カーペット系床仕上げ工作業 ・ ○畳製作作業 ・ ○ボード仕上げ工作業</td> </tr> <tr> <td>・植栽工事</td> <td>※ ○造園工作業</td> </tr> <tr> <td>○その他</td> <td>○樹脂接着剤注入工作業(エポキシ樹脂注入工事) 又は(単一)樹脂接着剤注入工作業(エポキシ樹脂注入工事) ・ ○家具手加工作業</td> </tr> </tbody> </table> 適用する技能士について、当該資格を有することが確認できる書類及び資格者が特定できる書類(運転免許証等)の写しを提出する。	工事種別	技能検定の作業の種別	○仮設工事	※ ●とび作業(又は足場組立作業主任者)	・鉄筋工事	※ ○鉄筋組立作業	・コンクリート工事	・ ○コンクリート圧送工作業 ・ ○型枠工作業	・鉄骨工事	※ ●とび作業	・ブロック・ALCパネル工事	・ ○コンクリートブロック工作業 ・ (単一)エーエルシーパネル工作業	○防水工事	・ ○アスファルト防水工作業 ○ウレタンゴム系塗膜防水工作業 ・ ○アクリルゴム系塗膜防水工作業 ・ ○合成ゴムシート防水工作業 ・ ○塩化ビニル系シート防水工作業 ・ ○セメント系防水工作業 ○ シーリング防水工作業 ・ ○改良アスファルトシートトーチ工法防水工作業 ・ ○FRP防水工作業	・石工事	※ ○石張り作業	・タイル工事	※ ○タイル張り作業	・木工事	※ ○大工工作業	・屋根及びとび工事	○かわらぶき ・ ●スレート工作業 ・ ○内外装板金作業	・金属工事	・ ○鋼製下土工作業 ・ (単一)金属製バルコニー工作業	・左官工事	※ ○左官作業	・建具工事	・ ○ビル用サッシ工作業 ・ ○木製建具製作 ・ ○ガラス工作業	・カーテンウォール工事	※ ○金属製カーテンウォール工作業	・塗装工事	※ ○建築塗装作業	・内装工事	・ ○プラスチック系床仕上げ工作業 ・ ○壁装作業 ・ ●カーペット系床仕上げ工作業 ・ ○畳製作作業 ・ ○ボード仕上げ工作業	・植栽工事	※ ○造園工作業	○その他	○樹脂接着剤注入工作業(エポキシ樹脂注入工事) 又は(単一)樹脂接着剤注入工作業(エポキシ樹脂注入工事) ・ ○家具手加工作業
工事種別	技能検定の作業の種別																																						
○仮設工事	※ ●とび作業(又は足場組立作業主任者)																																						
・鉄筋工事	※ ○鉄筋組立作業																																						
・コンクリート工事	・ ○コンクリート圧送工作業 ・ ○型枠工作業																																						
・鉄骨工事	※ ●とび作業																																						
・ブロック・ALCパネル工事	・ ○コンクリートブロック工作業 ・ (単一)エーエルシーパネル工作業																																						
○防水工事	・ ○アスファルト防水工作業 ○ウレタンゴム系塗膜防水工作業 ・ ○アクリルゴム系塗膜防水工作業 ・ ○合成ゴムシート防水工作業 ・ ○塩化ビニル系シート防水工作業 ・ ○セメント系防水工作業 ○ シーリング防水工作業 ・ ○改良アスファルトシートトーチ工法防水工作業 ・ ○FRP防水工作業																																						
・石工事	※ ○石張り作業																																						
・タイル工事	※ ○タイル張り作業																																						
・木工事	※ ○大工工作業																																						
・屋根及びとび工事	○かわらぶき ・ ●スレート工作業 ・ ○内外装板金作業																																						
・金属工事	・ ○鋼製下土工作業 ・ (単一)金属製バルコニー工作業																																						
・左官工事	※ ○左官作業																																						
・建具工事	・ ○ビル用サッシ工作業 ・ ○木製建具製作 ・ ○ガラス工作業																																						
・カーテンウォール工事	※ ○金属製カーテンウォール工作業																																						
・塗装工事	※ ○建築塗装作業																																						
・内装工事	・ ○プラスチック系床仕上げ工作業 ・ ○壁装作業 ・ ●カーペット系床仕上げ工作業 ・ ○畳製作作業 ・ ○ボード仕上げ工作業																																						
・植栽工事	※ ○造園工作業																																						
○その他	○樹脂接着剤注入工作業(エポキシ樹脂注入工事) 又は(単一)樹脂接着剤注入工作業(エポキシ樹脂注入工事) ・ ○家具手加工作業																																						
㉑ 化学物質の室内濃度の測定	化学物質の室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、 [1.7.9] 報告書を監督職員に提出する。 ただし、完成検査前に報告書の提出が困難な場合は、事前に信頼のおける速報等の資料を監督職員に提出する。この場合、後日に正式な報告書を速やかに監督職員に提出しなければならない。 測定する業者の選定にあたっては、あらかじめ監督職員に報告すること。 測定方法 ※ 厚生労働省「室内空気中化学物質の室内濃度指針値及び標準的測定方法について」による。 測定対象化学物質 ※ホルムアルデヒド ※トルエン ※キシレン ※エチルベンゼン ※スチレン ※パラジクロロベンゼン 測定箇所 ()箇所 施工前・施工後(計 回測定) 測定対象室 () なお、測定結果が厚生労働省の定める指針値を超えている場合は、原則として本工事の引き渡しを行わないこととする。ただし、次のいずれかに該当する場合は除く。 1 何らかの対策が施された結果、揮発性有機化合物の濃度が厚生労働省の定める指針値以下となったことが確認された場合。 2 濃度測定の結果が、本工事の施工により生じたものでないことが明確である場合。 3 濃度測定が、使用開始後(備品の搬入等を含む)に行われた場合。 本工事の引き渡し後、あるいは、使用開始後に室内の揮発性有機化合物(VOC)の濃度測定が行われ、測定結果が厚生労働省の指針値を超えている場合については、受注者は、工事引き渡し後であっても、その原因究明に当たって協力しなければならない。 また、本工事の施工が原因となって、化学物質の濃度が厚生労働省の定める指針値を超えたものであることが判明した場合は、受注者の負担により、その対策を講じなければならない。																																						
㉒ 直接仮設の養生	内部養生に合板又は構造用パネルを使用する場合、その合板または構造用パネルのホルムアルデヒド放散量はF☆☆☆☆、又はそれと同等と認められる製品を使用する。																																						
㉓ 建築材料等	本工事に使用する材料等のうち、特定のものが特記された場合は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等のものとする。(記載順序は不同)また、「評価名簿による」と特記されたものについては、(一社)公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿」によるもの、又は評価の内容についてこれらと同等と認められるものとする。 ただし、同等とする場合は、監督職員の承諾を受ける。 県内産資材の優先使用 本工事に使用する資材は、機能、品質、価格等が同等であれば、県内産資材を優先して使用するものとする。なお、県外産資材を使用する場合は、使用理由を施工計画書の打合せ事項に記載し、監督職員の確認を受けること。 注1: 県内産資材とは、高知県内で産出した原材料を用いて、高知県内で製造、加工した資材、又は高知県外で産出した原材料を用いて、高知県内で製造、加工された資材をいう。 ただし、①木材は、高知県内の森林から生産されたもの、②生コンクリートの細骨材に配合する海砂は、高知県内で産出されたものとする。 注2: 県外産資材とは、県内産資材以外の資材をいう。 公共建築工事標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、監督職員の承諾を受けて当該材料製造所の指定する工法による。																																						
㉔ 特別な材料の工法																																							
㉕ 風圧力	本工事に使用する材料及び工法は、建築基準法に基づき定まる風圧力に対応したものと、速度圧を求める場合の風速(Vo)及び地表面粗土区分は、次の数値とする。 風速(Vo): ※ 38m/sec ・ 36m/sec 地表面粗土区分: ※ III ・ II																																						
㉖ 仕上面の出隅処理	内外部とも仕上出隅で利用者の手の届く範囲は、図示が無くとも原則として全て面取りを施す。 木部(家具を含む) 6mm程度 コンクリート、モルタル部 20mm程度 鉄部、金属部 3mm程度 建具類等、上記により難しい場合は、監督職員と協議する。																																						

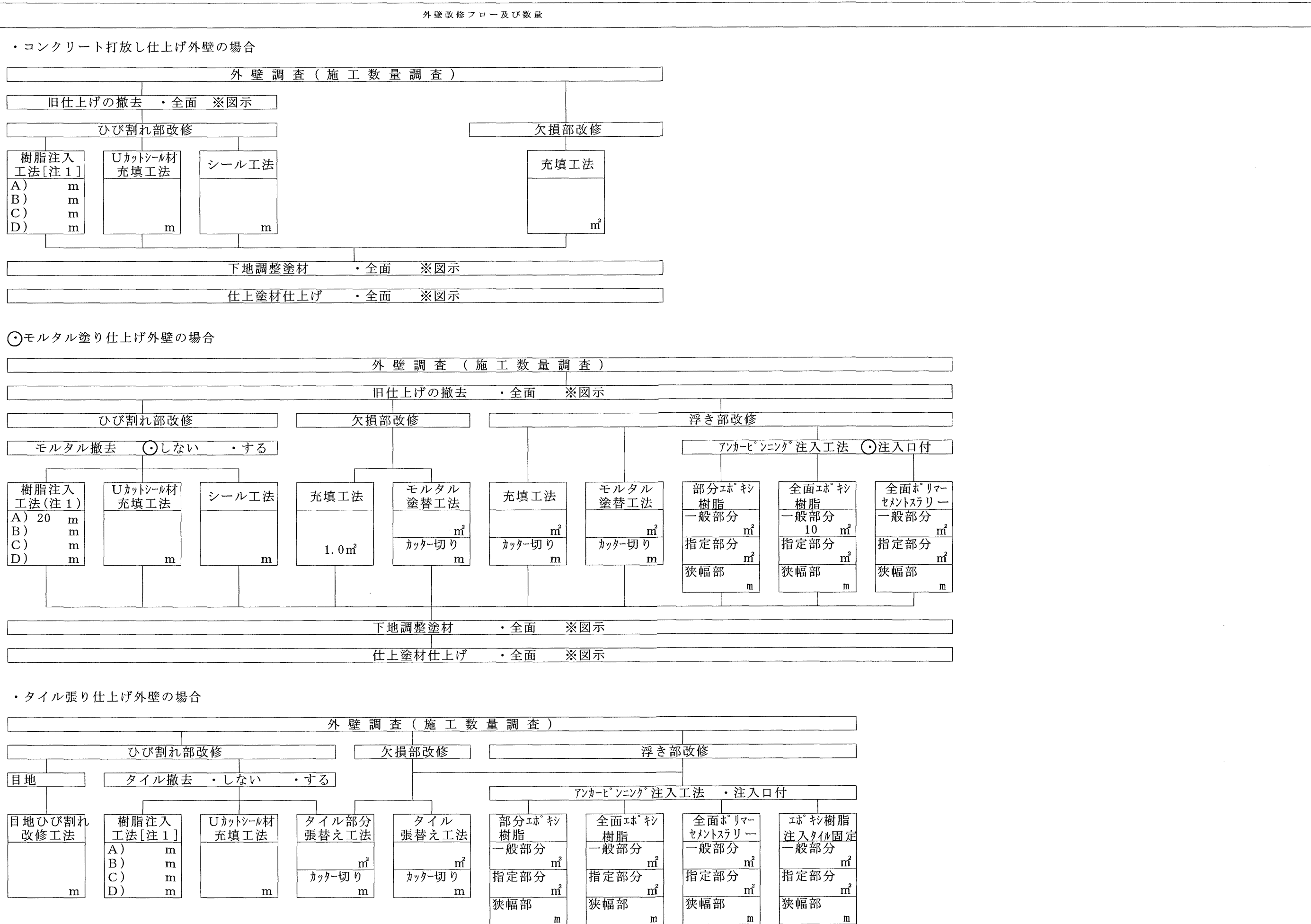
項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項																																																																																																																																															
27 事業損失補償	※現場説明書による。	5 監督職員の備品等	備品等の設置 [2.4.1] <table border="1"> <tr><td>備品の種類</td><td>机・椅子</td><td>書棚</td><td>黒板</td><td>PC</td><td>掛時計</td></tr> <tr><td>数量</td><td>組</td><td>台</td><td>枚</td><td>台</td><td>個</td></tr> <tr><td>備品の種類</td><td>温度計</td><td>ゴム長靴</td><td>雨がっぱ</td><td>保護帽</td><td>懐中電灯</td></tr> <tr><td>数量</td><td>個</td><td>足</td><td>着</td><td>個</td><td>個</td></tr> <tr><td>備品の種類</td><td>衣類ロッカー</td><td>冷暖房機器</td><td>消火器</td><td>湯沸器</td><td>加入電話付属器</td></tr> <tr><td>数量</td><td>人用</td><td>台</td><td>個</td><td>台</td><td>台</td></tr> <tr><td>備品の種類</td><td>掃除具</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>数量</td><td>個</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	備品の種類	机・椅子	書棚	黒板	PC	掛時計	数量	組	台	枚	台	個	備品の種類	温度計	ゴム長靴	雨がっぱ	保護帽	懐中電灯	数量	個	足	着	個	個	備品の種類	衣類ロッカー	冷暖房機器	消火器	湯沸器	加入電話付属器	数量	人用	台	個	台	台	備品の種類	掃除具					数量	個					⑥ シーリング	シーリング改修工法の種類 [3.1.4][3.7.4~3.7.7][表3.1.2] ・シーリング充填工法 ・ブリッジ工法 ・ボンドブレッカー張り ・エッジング材張り ・シーリング再充填工法 ・拡張シーリング再充填工法 シーリング材の種類、施工箇所 [3.1.4][3.7.2][表3.7.1] ※下表による(下表以外は表3.7.1による) <table border="1"> <tr><th>種類(記号)</th><th>主成分による区分</th><th>施工箇所</th></tr> <tr><td>・SR-1</td><td>シリコン系</td><td></td></tr> <tr><td>・SR-2</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>・MS-2</td><td>変成シリコン系</td><td>建具廻り</td></tr> <tr><td>・PS-2</td><td>ポリサルファイド系</td><td></td></tr> <tr><td>・PU-2</td><td>ポリウレタン系</td><td>上記以外</td></tr> </table> 仕上げを行わない箇所 () [表3.7.1] シーリング材の目地寸法 [3.7.3] <table border="1"> <tr><th>箇所</th><th>打継ぎ/ひび割れ誘発目地</th><th>ガラス回りの目地</th><th>左記以外の目地</th></tr> <tr><td>幅(mm)</td><td>※20以上</td><td>※幅及び深さ5以上[5.13]</td><td>※10以上</td></tr> <tr><td>深さ(mm)</td><td>※10以上</td><td>.3]による場合を除く)</td><td>※10以上</td></tr> </table> 接着性試験 [3.7.8] ※ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験 材料 [3.8.2][表3.8.1] <table border="1"> <tr><th>材 種</th><th>寸 法</th><th>施 工 箇 所</th></tr> <tr><td>・ 硬質ポリ塩化ビニル管(VP)</td><td></td><td>※たてどい</td></tr> <tr><td>・ 硬質ポリ塩化ビニル管カラー(カラーVP)</td><td>φ100</td><td>※たてどい</td></tr> <tr><td>・ 硬質塩化ビニル雨どい</td><td></td><td>※軒どい ・ たてどい</td></tr> </table> ⑦ 保証書 (シーリング除く) ⑧ 高日射反射率塗料塗り	種類(記号)	主成分による区分	施工箇所	・SR-1	シリコン系		・SR-2			・MS-2	変成シリコン系	建具廻り	・PS-2	ポリサルファイド系		・PU-2	ポリウレタン系	上記以外	箇所	打継ぎ/ひび割れ誘発目地	ガラス回りの目地	左記以外の目地	幅(mm)	※20以上	※幅及び深さ5以上[5.13]	※10以上	深さ(mm)	※10以上	.3]による場合を除く)	※10以上	材 種	寸 法	施 工 箇 所	・ 硬質ポリ塩化ビニル管(VP)		※たてどい	・ 硬質ポリ塩化ビニル管カラー(カラーVP)	φ100	※たてどい	・ 硬質塩化ビニル雨どい		※軒どい ・ たてどい																																																					
備品の種類	机・椅子	書棚	黒板	PC	掛時計																																																																																																																																															
数量	組	台	枚	台	個																																																																																																																																															
備品の種類	温度計	ゴム長靴	雨がっぱ	保護帽	懐中電灯																																																																																																																																															
数量	個	足	着	個	個																																																																																																																																															
備品の種類	衣類ロッカー	冷暖房機器	消火器	湯沸器	加入電話付属器																																																																																																																																															
数量	人用	台	個	台	台																																																																																																																																															
備品の種類	掃除具																																																																																																																																																			
数量	個																																																																																																																																																			
種類(記号)	主成分による区分	施工箇所																																																																																																																																																		
・SR-1	シリコン系																																																																																																																																																			
・SR-2																																																																																																																																																				
・MS-2	変成シリコン系	建具廻り																																																																																																																																																		
・PS-2	ポリサルファイド系																																																																																																																																																			
・PU-2	ポリウレタン系	上記以外																																																																																																																																																		
箇所	打継ぎ/ひび割れ誘発目地	ガラス回りの目地	左記以外の目地																																																																																																																																																	
幅(mm)	※20以上	※幅及び深さ5以上[5.13]	※10以上																																																																																																																																																	
深さ(mm)	※10以上	.3]による場合を除く)	※10以上																																																																																																																																																	
材 種	寸 法	施 工 箇 所																																																																																																																																																		
・ 硬質ポリ塩化ビニル管(VP)		※たてどい																																																																																																																																																		
・ 硬質ポリ塩化ビニル管カラー(カラーVP)	φ100	※たてどい																																																																																																																																																		
・ 硬質塩化ビニル雨どい		※軒どい ・ たてどい																																																																																																																																																		
29 完成写真	下表のものを監督職員に提出する。 <table border="1"> <tr><th>位置</th><th>分類・規格</th><th>撮影枚数</th><th>部 数</th><th>原画の大きさ(mm)</th></tr> <tr><td>・ 各室</td><td>手札版(L版)</td><td>※2枚・枚</td><td>※1部・部</td><td>・ 100×125以上</td></tr> <tr><td>・ 外部</td><td>キャビネ版</td><td>※4枚・枚</td><td>※1部・部</td><td>・ 24×36以上</td></tr> <tr><td>・ 外部</td><td>半切パネル(木製枠※アルミ枠)</td><td>※1枚・枚</td><td>※1部・部</td><td></td></tr> <tr><td>・</td><td>スライド</td><td></td><td>※1部・部</td><td></td></tr> </table> カラー・電子データ化(CD-R等)し、すべて提出する。 撮影箇所は監督職員と協議する。 上表のほか、監督職員指示の箇所をデジタルカメラにて撮影し、CD-R等に提出する。 画像形式等 フォーマット: JPEG 画質: 標準 画像サイズ: 1024×768ピクセル程度	位置	分類・規格	撮影枚数	部 数	原画の大きさ(mm)	・ 各室	手札版(L版)	※2枚・枚	※1部・部	・ 100×125以上	・ 外部	キャビネ版	※4枚・枚	※1部・部	・ 24×36以上	・ 外部	半切パネル(木製枠※アルミ枠)	※1枚・枚	※1部・部		・	スライド		※1部・部		⑥ 工事用水・電力	構内既存の施設(用水) ①利用できる (※有償・無償) ※利用できない 構内既存の施設(電力) ①利用できる (※有償・無償) ※利用できない 構内既存の施設を利用できる場合で、無償の場合は、下記a)~c)による。 a) 既存設備の水栓等から直接水を使用する場合は、監督職員と協議する。 b) 既存のコンセントから直接電力を使用する場合は、監督職員と協議する。 c) 工事用電源を既存建築物から分岐する場合は、原則、既設分電盤の共用回路のコンセントからとする。なお、接続する回路の負荷状態等を確認し、既設負荷への波及がないようにする。 また、漏電遮断器付コンセント等を使用し、安全の確保を図る。 構内既存の施設を利用できる場合で、有償の場合は、上記a)~c)に下記d)~e)を加える。 d) 工事用水は、既存設備に量水器を設けて、仮設配管を施し使用するものとする。 e) 工事用電力は、原則、既存設備に電力計を設けて、仮設分電盤を設置し、使用するものとする。 ⑦ 仮囲い ⑧ 仮設物撤去後の整地・跡片付け	⑥ とい	シーリング材の種類、施工箇所 [3.8.2][表3.8.1] <table border="1"> <tr><th>材 種</th><th>寸 法</th><th>施 工 箇 所</th></tr> <tr><td>・ 硬質ポリ塩化ビニル管(VP)</td><td></td><td>※たてどい</td></tr> <tr><td>・ 硬質ポリ塩化ビニル管カラー(カラーVP)</td><td>φ100</td><td>※たてどい</td></tr> <tr><td>・ 硬質塩化ビニル雨どい</td><td></td><td>※軒どい ・ たてどい</td></tr> </table> ⑦ 保証書 (シーリング除く) ⑧ 高日射反射率塗料塗り	材 種	寸 法	施 工 箇 所	・ 硬質ポリ塩化ビニル管(VP)		※たてどい	・ 硬質ポリ塩化ビニル管カラー(カラーVP)	φ100	※たてどい	・ 硬質塩化ビニル雨どい		※軒どい ・ たてどい																																																																																																										
位置	分類・規格	撮影枚数	部 数	原画の大きさ(mm)																																																																																																																																																
・ 各室	手札版(L版)	※2枚・枚	※1部・部	・ 100×125以上																																																																																																																																																
・ 外部	キャビネ版	※4枚・枚	※1部・部	・ 24×36以上																																																																																																																																																
・ 外部	半切パネル(木製枠※アルミ枠)	※1枚・枚	※1部・部																																																																																																																																																	
・	スライド		※1部・部																																																																																																																																																	
材 種	寸 法	施 工 箇 所																																																																																																																																																		
・ 硬質ポリ塩化ビニル管(VP)		※たてどい																																																																																																																																																		
・ 硬質ポリ塩化ビニル管カラー(カラーVP)	φ100	※たてどい																																																																																																																																																		
・ 硬質塩化ビニル雨どい		※軒どい ・ たてどい																																																																																																																																																		
30 別途設備工事との取合い	施工範囲 ・ 貫通孔、開口部の補強 ※ 下表 ・ 図示 ・ 壁、天井の仕上材、下地材の切込み及び下地材の補強 ※ 下表 ・ 図示 ・ 駆動装置が電動による建具類の2次配線及び操作スイッチ ・ 自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強 <table border="1"> <tr><th>補 強 種 別</th><th>内 容</th></tr> <tr><td rowspan="3">貫通孔、開口部の補強</td><td>梁</td></tr> <tr><td>壁</td></tr> <tr><td>スラブ</td></tr> <tr><td>壁切込み及び補強</td><td></td></tr> <tr><td>天井切込み及び補強</td><td></td></tr> </table>	補 強 種 別	内 容	貫通孔、開口部の補強	梁	壁	スラブ	壁切込み及び補強		天井切込み及び補強		⑦ 仮囲い ⑧ 仮設物撤去後の整地・跡片付け	※ 図示 ※ 原形の復旧 ・ 良土にて設計地盤まで盛土整地する。 範囲(図示) 厚さ() [2.5.1]	⑦ 保証書 (シーリング除く) ⑧ 高日射反射率塗料塗り	JIS K 5675 (屋根用高日射反射率塗料) に適合するもの、または、グリーン購入法の高日射反射率防水に適合する保護塗料とする。																																																																																																																																					
補 強 種 別	内 容																																																																																																																																																			
貫通孔、開口部の補強	梁																																																																																																																																																			
	壁																																																																																																																																																			
	スラブ																																																																																																																																																			
壁切込み及び補強																																																																																																																																																				
天井切込み及び補強																																																																																																																																																				
31 撤去部分	① 不当要求等への対応	3 合成高分子系ルーフィングシート防水	① 降雨等に対する養生方法 ※3.1.3(5)による ② 既存下地の処理 既存下地の補修箇所、範囲、数量等 ※ 図示 設備機器架台、配管受部、パラベット、貫通パイプ回り、手すり・丸環の取付け部、塔屋出入口部、防水層末端部等の納まり部の処理 ※ 図示(図示のない場合は監督職員と協議による) ・ 製造所の仕様による ③ 合成高分子系ルーフィングシート防水 <table border="1"> <tr><th>工法</th><th>種別</th><th>施工箇所</th><th>厚さ(mm)</th><th>仕上塗料の種類</th><th>使用量</th><th>高日射反射率塗料の適用</th><th>備考</th></tr> <tr><td rowspan="2">・ POS ・ S4S</td><td>・ S-F1</td><td></td><td>※1.2</td><td rowspan="2">※製造所の仕様による</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">改修用ドレン・設ける</td></tr> <tr><td>・ S-F2</td><td></td><td>※2.0 ・ 1.5</td></tr> <tr><td rowspan="2">・ S3S</td><td>・ S-M1</td><td></td><td>※1.5</td><td rowspan="2">※製造所の仕様による</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">改修用ドレン・設けない</td></tr> <tr><td>・ S-F1</td><td></td><td>※1.2</td></tr> <tr><td rowspan="2">・ M4S</td><td>・ S-M1</td><td></td><td>※1.5</td><td rowspan="2">※製造所の仕様による</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">改修用ドレン・設ける</td></tr> <tr><td>・ S-M2</td><td></td><td>※1.5</td></tr> <tr><td rowspan="2">・ POS1 ・ S3S1 ・ S4S1</td><td>・ SI-F1</td><td></td><td>※1.2</td><td rowspan="2">※製造所の仕様による</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">改修用ドレン・設ける</td></tr> <tr><td>・ SI-F2</td><td></td><td>※2.0 ・ 1.5</td></tr> <tr><td rowspan="2">・ M4S1</td><td>・ SI-M1</td><td></td><td>※1.5</td><td rowspan="2">※製造所の仕様による</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">改修用ドレン・設けない</td></tr> <tr><td>・ SI-M2</td><td></td><td>※1.5</td></tr> <tr><td>・ P1S</td><td>・ S-C1</td><td></td><td>※1.0</td><td></td><td></td><td></td><td>立上り保護モルタルの塗厚・図示・7mm</td></tr> </table> 断熱工法に用いる断熱材(SI-F1、SI-F2、SI-M1、SI-M2の場合) [3.5.2] <table border="1"> <tr><th>工法</th><th>材 料</th><th>厚 さ</th></tr> <tr><td>機械的固定工法</td><td>JIS A 9521(建築用断熱材)に基づく発泡アラスタック断熱材</td><td>・ 図示</td></tr> <tr><td>固定工法</td><td>種類: ※硬質ウレタン断熱材2種1号又は2号</td><td>・ 図示</td></tr> <tr><td>接着工法</td><td>JIS A 9521に基づく発泡アラスタック断熱材</td><td>・ 図示</td></tr> <tr><td></td><td>種類: ※硬質ウレタン断熱材2種1号又は2号</td><td>・ 図示</td></tr> </table> S-M2及びPS-M2の立上り面の工法及びシートの厚さ 工法: ※ 図示 ・ 接着工法(厚さ mm) ・ 機械固定工法(厚さ mm) [表3.1.1] 立上り部等の防水層撤去 ・ 行う ・ 行わない 立上り部等の保護層撤去 ・ 行う ・ 行わない POS工法及びPSI工法(機械的固定工法)の立上り部等の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした場合の既存防水層の処理 ※3.2.6(4)(ウ)(g)による [3.5.2] 固定金具の材質及び形状 材質 ※ 防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板またはそれらの鋼板の片面及び両面に樹脂を積層加工したもの 厚さ(mm) ※ 0.4以上 S-M1及びPS-M2の絶縁用シート及び可塑性移行防止用シートの材質 ※ 発泡ポリエチレンシート [3.5.2] 脱気装置の種類及び設置数量 ※ 製造所の仕様による [3.5.3] SI-M1及びPSI-M2の防湿用フィルムの設置 ※ 設けない ・ 設ける [表3.5.2] プレキャストコンクリート下地の目地処理(接着工法の場合) [3.5.4] ・ 行う(図示) ・ 行わない S-F1及びPSI-F1のプレキャストコンクリート下地の入隅部増張り [3.5.4] ・ 行う(図示) ・ 行わない 一般部のルーフィングシートの張付けで機械的固定工法の場合 建築基準法に基づく風圧力の(※1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法 [3.6.3]	工法	種別	施工箇所	厚さ(mm)	仕上塗料の種類	使用量	高日射反射率塗料の適用	備考	・ POS ・ S4S	・ S-F1		※1.2	※製造所の仕様による			改修用ドレン・設ける	・ S-F2		※2.0 ・ 1.5	・ S3S	・ S-M1		※1.5	※製造所の仕様による			改修用ドレン・設けない	・ S-F1		※1.2	・ M4S	・ S-M1		※1.5	※製造所の仕様による			改修用ドレン・設ける	・ S-M2		※1.5	・ POS1 ・ S3S1 ・ S4S1	・ SI-F1		※1.2	※製造所の仕様による			改修用ドレン・設ける	・ SI-F2		※2.0 ・ 1.5	・ M4S1	・ SI-M1		※1.5	※製造所の仕様による			改修用ドレン・設けない	・ SI-M2		※1.5	・ P1S	・ S-C1		※1.0				立上り保護モルタルの塗厚・図示・7mm	工法	材 料	厚 さ	機械的固定工法	JIS A 9521(建築用断熱材)に基づく発泡アラスタック断熱材	・ 図示	固定工法	種類: ※硬質ウレタン断熱材2種1号又は2号	・ 図示	接着工法	JIS A 9521に基づく発泡アラスタック断熱材	・ 図示		種類: ※硬質ウレタン断熱材2種1号又は2号	・ 図示	① 材料品質	可とう性エポキシ樹脂 [4.2.4] JIS A 6024による。 <table border="1"> <tr><th>比重</th><th>押出し性(秒)</th><th>スランブ(Mm)</th><th>質量変化率(%)</th><th>引張り強さ(MPa)</th><th>破断時伸び(%)</th><th>引張り接着性</th></tr> <tr><td rowspan="2">表示値 ±0.10</td><td rowspan="2">60以下</td><td rowspan="2">3.0以下</td><td rowspan="2">5.0以下</td><td>標準 1.0以上</td><td>標準 30.0以上</td><td>最大引張強さ 1.0MPa以上</td></tr> <tr><td>加熟劣化1.0以上</td><td>加熟劣化30.0以上</td><td>破断時の伸び 10.0%以上</td></tr> </table> 1) 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 2) 対象とする被着体を侵さず、かつ周囲を汚損しないこと。 3) 常温常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造所の指定する期間又は製造後6ヶ月保存した後であっても、品質・性能が上記の各項目に適合していること。 パテ状エポキシ樹脂 [4.2.4] JIS A 6024による。 <table border="1"> <tr><th>初期硬化性(MPa)</th><th>接着強さ(MPa)</th><th>圧縮強さ(MPa)</th><th>曲げ強さ(MPa)</th><th>硬化収縮率(%)</th></tr> <tr><td>標準2.0以上</td><td>標準6.0以上</td><td>50.0以上</td><td>30.0以上</td><td>3.0以下</td></tr> </table> 1) 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 2) 対象とする被着体を侵さず、かつ周囲を汚損しないこと。 3) 常温常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造所の指定する期間又は製造後6ヶ月保存した後であっても、品質・性能が上記の各項目に適合していること。 4) 試験方法は、JIS A 6024(建築補修用注入エポキシ樹脂)に準じる。 エポキシ樹脂モルタル [4.2.4] JIS A 6024による。 <table border="1"> <tr><th>だれ</th><th>接着強さ(MPa)</th><th>圧縮強さ(MPa)</th><th>曲げ強さ(MPa)</th></tr> <tr><td>形状に異常がなく、だれが生じないこと</td><td>1.0以上</td><td>20.0以上</td><td>10.0以上(3日後の値)</td></tr> </table> 1) こて塗りが容易で、かつ、硬化後の仕上がりが良好であること。 2) 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 3) 「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。 4) 常温常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造所の指定する期間又は製造後6ヶ月間保存した後であっても、品質・性能が上記の各項目に適合していること。 ポリマーセメントモルタル [4.2.4] <table border="1"> <tr><th>だれ</th><th>曲げ強さ(N/mm2)</th><th>圧縮強さ(N/mm2)</th><th>接着強さ(N/mm2)</th></tr> <tr><td>下がり量</td><td rowspan="2">6.0以上</td><td rowspan="2">20.0以上</td><td rowspan="2">標準条件 1.0以上 0.8以上 0.5以上</td></tr> <tr><td>5mm以内</td><td>ひびわれの発生がないこと</td></tr> </table> 1) 透水性 裏面のぬれ、水滴の付着がないこと。 2) 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 3) ポリマーセメントモルタルに用いる高分子エマルジョンは、常温常湿において製造後6ヶ月保存しても変質しないこと。 ポリマーセメントスラリー [4.3.5] <table border="1"> <tr><th>拡がり速さ(cm/s)</th><th>長さ変化率(収縮)(%)</th><th>引張接着性(材齢28日)(N/mm2)</th><th>曲げ強度(材齢28日)(N/mm2)</th><th>吸水率(72時間)(%)</th><th>劣化曲げ強さ(N/mm2)</th></tr> <tr><td>3以上</td><td>3以下</td><td>0.49以上</td><td>4.9以上</td><td>15以下</td><td>4.9以上</td></tr> </table> 1) 保水係数 0.35~0.55 2) 粘調係数 0.50~1.00 3) 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 4) ポリマーセメントスラリー用の材料は、常温常湿において製造後6ヶ月間保存しても変質しないこと。	比重	押出し性(秒)	スランブ(Mm)	質量変化率(%)	引張り強さ(MPa)	破断時伸び(%)	引張り接着性	表示値 ±0.10	60以下	3.0以下	5.0以下	標準 1.0以上	標準 30.0以上	最大引張強さ 1.0MPa以上	加熟劣化1.0以上	加熟劣化30.0以上	破断時の伸び 10.0%以上	初期硬化性(MPa)	接着強さ(MPa)	圧縮強さ(MPa)	曲げ強さ(MPa)	硬化収縮率(%)	標準2.0以上	標準6.0以上	50.0以上	30.0以上	3.0以下	だれ	接着強さ(MPa)	圧縮強さ(MPa)	曲げ強さ(MPa)	形状に異常がなく、だれが生じないこと	1.0以上	20.0以上	10.0以上(3日後の値)	だれ	曲げ強さ(N/mm2)	圧縮強さ(N/mm2)	接着強さ(N/mm2)	下がり量	6.0以上	20.0以上	標準条件 1.0以上 0.8以上 0.5以上	5mm以内	ひびわれの発生がないこと	拡がり速さ(cm/s)	長さ変化率(収縮)(%)	引張接着性(材齢28日)(N/mm2)	曲げ強度(材齢28日)(N/mm2)	吸水率(72時間)(%)	劣化曲げ強さ(N/mm2)	3以上	3以下	0.49以上	4.9以上	15以下	4.9以上
工法	種別	施工箇所	厚さ(mm)	仕上塗料の種類	使用量	高日射反射率塗料の適用	備考																																																																																																																																													
・ POS ・ S4S	・ S-F1		※1.2	※製造所の仕様による			改修用ドレン・設ける																																																																																																																																													
	・ S-F2		※2.0 ・ 1.5																																																																																																																																																	
・ S3S	・ S-M1		※1.5	※製造所の仕様による			改修用ドレン・設けない																																																																																																																																													
	・ S-F1		※1.2																																																																																																																																																	
・ M4S	・ S-M1		※1.5	※製造所の仕様による			改修用ドレン・設ける																																																																																																																																													
	・ S-M2		※1.5																																																																																																																																																	
・ POS1 ・ S3S1 ・ S4S1	・ SI-F1		※1.2	※製造所の仕様による			改修用ドレン・設ける																																																																																																																																													
	・ SI-F2		※2.0 ・ 1.5																																																																																																																																																	
・ M4S1	・ SI-M1		※1.5	※製造所の仕様による			改修用ドレン・設けない																																																																																																																																													
	・ SI-M2		※1.5																																																																																																																																																	
・ P1S	・ S-C1		※1.0				立上り保護モルタルの塗厚・図示・7mm																																																																																																																																													
工法	材 料	厚 さ																																																																																																																																																		
機械的固定工法	JIS A 9521(建築用断熱材)に基づく発泡アラスタック断熱材	・ 図示																																																																																																																																																		
固定工法	種類: ※硬質ウレタン断熱材2種1号又は2号	・ 図示																																																																																																																																																		
接着工法	JIS A 9521に基づく発泡アラスタック断熱材	・ 図示																																																																																																																																																		
	種類: ※硬質ウレタン断熱材2種1号又は2号	・ 図示																																																																																																																																																		
比重	押出し性(秒)	スランブ(Mm)	質量変化率(%)	引張り強さ(MPa)	破断時伸び(%)	引張り接着性																																																																																																																																														
表示値 ±0.10	60以下	3.0以下	5.0以下	標準 1.0以上	標準 30.0以上	最大引張強さ 1.0MPa以上																																																																																																																																														
				加熟劣化1.0以上	加熟劣化30.0以上	破断時の伸び 10.0%以上																																																																																																																																														
初期硬化性(MPa)	接着強さ(MPa)	圧縮強さ(MPa)	曲げ強さ(MPa)	硬化収縮率(%)																																																																																																																																																
標準2.0以上	標準6.0以上	50.0以上	30.0以上	3.0以下																																																																																																																																																
だれ	接着強さ(MPa)	圧縮強さ(MPa)	曲げ強さ(MPa)																																																																																																																																																	
形状に異常がなく、だれが生じないこと	1.0以上	20.0以上	10.0以上(3日後の値)																																																																																																																																																	
だれ	曲げ強さ(N/mm2)	圧縮強さ(N/mm2)	接着強さ(N/mm2)																																																																																																																																																	
下がり量	6.0以上	20.0以上	標準条件 1.0以上 0.8以上 0.5以上																																																																																																																																																	
5mm以内				ひびわれの発生がないこと																																																																																																																																																
拡がり速さ(cm/s)	長さ変化率(収縮)(%)	引張接着性(材齢28日)(N/mm2)	曲げ強度(材齢28日)(N/mm2)	吸水率(72時間)(%)	劣化曲げ強さ(N/mm2)																																																																																																																																															
3以上	3以下	0.49以上	4.9以上	15以下	4.9以上																																																																																																																																															
32 仮設工事(改修)	① 足場その他	④ 塗膜防水	防水層の種類 [3.6.3][表3.6.1~表3.6.3] <table border="1"> <tr><th>工法</th><th>種別</th><th>施工箇所</th><th>仕上塗料の種類</th><th>使用量</th><th>高日射反射率塗料の適用</th><th>備考</th></tr> <tr><td rowspan="2">・ POX ・ L4X</td><td>・ X-1 ・ X-1H</td><td rowspan="2">図示</td><td rowspan="2">※2成分形アクリル樹脂系 ・ ふっ素樹脂系 ・ アクリル樹脂系</td><td rowspan="2">※製造所の仕様による</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">改修用ドレン・設ける ① 設けない</td></tr> <tr><td>・ X-2 ・ X-2H</td><td></td></tr> </table> 絶縁工法における脱気装置の種類及び設置数量 ※ 主材料の製造所の仕様による [3.6.3] ウレタン防水材 ※ 化学物質MOCAを含有しないもの	工法	種別	施工箇所	仕上塗料の種類	使用量	高日射反射率塗料の適用	備考	・ POX ・ L4X	・ X-1 ・ X-1H	図示	※2成分形アクリル樹脂系 ・ ふっ素樹脂系 ・ アクリル樹脂系	※製造所の仕様による		改修用ドレン・設ける ① 設けない	・ X-2 ・ X-2H		④ 塗膜防水	④ 塗膜防水																																																																																																																															
工法	種別	施工箇所	仕上塗料の種類	使用量	高日射反射率塗料の適用	備考																																																																																																																																														
・ POX ・ L4X	・ X-1 ・ X-1H	図示	※2成分形アクリル樹脂系 ・ ふっ素樹脂系 ・ アクリル樹脂系	※製造所の仕様による		改修用ドレン・設ける ① 設けない																																																																																																																																														
	・ X-2 ・ X-2H																																																																																																																																																			
33 消防計画	② 養生	④ 塗膜防水	④ 塗膜防水	④ 塗膜防水	④ 塗膜防水																																																																																																																																															
34 工事特性等	③ 仮設間仕切り(屋内)	④ 塗膜防水	④ 塗膜防水	④ 塗膜防水	④ 塗膜防水																																																																																																																																															
35 監督職員事務所	④ 監督職員事務所	④ 塗膜防水	④ 塗膜防水	④ 塗膜防水	④ 塗膜防水																																																																																																																																															

高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	城北中学校北舎・昇降所棟外壁改修工事	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
図面名	改修特記仕様書(2)	縮尺	1/	作図	令和8年 2月 日	A-02

項目	特記事項																																																																																																		
5 塗装の種類	<p>[7.3.2、7.5.2~7.13.2][表7.5.1~表7.13.1]</p> <table border="1"> <tr> <th>略号</th> <th>塗装</th> <th>塗装面</th> <th>塗替え</th> <th>新規</th> </tr> <tr> <td rowspan="4">・SOP</td> <td rowspan="4">合成樹脂調合ペイント塗り 塗料の種類 ※1種</td> <td>木部(屋外)</td> <td>※B種</td> <td>※A種</td> </tr> <tr> <td>木部(屋内)</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>※B種・A種</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具 亜鉛めっき鋼面)</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>・CL</td> <td>クリヤラッカー塗り</td> <td>※B種</td> <td>※A種</td> <td>※B種・A種</td> </tr> <tr> <td>・NAD</td> <td>アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り</td> <td>※B種</td> <td>※A種</td> <td>※B種・A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・DP</td> <td rowspan="2">耐候性塗料塗り 上塗り塗料等級 ・1級・2級 ・3級</td> <td>鉄鋼面</td> <td>表7.8.1</td> <td>表7.8.1</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面 コンクリート面及びECP面</td> <td>表7.8.2</td> <td>表7.8.2</td> </tr> <tr> <td rowspan="8">・EP-G</td> <td rowspan="8">つや有合成樹脂エマルジョン ペイント塗り</td> <td>コンクリート面</td> <td>※B種</td> <td>※B種・A種</td> </tr> <tr> <td>モルタル面</td> <td>※B種</td> <td>※B種・A種</td> </tr> <tr> <td>プラスター面</td> <td>※B種</td> <td>※B種・A種</td> </tr> <tr> <td>せっこうボード面</td> <td>※B種</td> <td>※B種・A種</td> </tr> <tr> <td>その他ボード面</td> <td>※B種</td> <td>※B種・A種</td> </tr> <tr> <td>屋内木部</td> <td>※B種</td> <td>※A種</td> </tr> <tr> <td>屋内鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>※A種・B種</td> </tr> <tr> <td>屋内亜鉛めっき鋼面</td> <td>※A種</td> <td>※A種・B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">・EP</td> <td rowspan="4">合成樹脂エマルジョン ペイント塗り</td> <td>コンクリート面</td> <td>※B種</td> <td>※B種・A種</td> </tr> <tr> <td>モルタル面</td> <td>※B種</td> <td>※B種・A種</td> </tr> <tr> <td>プラスター面</td> <td>※B種</td> <td>※B種・A種</td> </tr> <tr> <td>せっこうボード面 その他ボード面</td> <td>※B種</td> <td>※B種・A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・UC</td> <td rowspan="2">ウレタン樹脂ワニス塗り</td> <td>コンクリート面</td> <td>※B種</td> <td>※B種・A種</td> </tr> <tr> <td>モルタル面</td> <td>※B種</td> <td>※B種・A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ステイン ・オイルステイン塗り</td> <td rowspan="2">ウレタン樹脂ワニス塗り</td> <td>コンクリート面</td> <td>表7.12.1</td> <td>表7.12.1</td> </tr> <tr> <td>モルタル面</td> <td>表7.12.1</td> <td>表7.12.1</td> </tr> <tr> <td>・WP</td> <td>木材保護塗料塗り</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> <td></td> </tr> </table> <p>CL A種の場合の塗料の種類 UC 着色 ・適用する OS 仕様 ・図示</p>	略号	塗装	塗装面	塗替え	新規	・SOP	合成樹脂調合ペイント塗り 塗料の種類 ※1種	木部(屋外)	※B種	※A種	木部(屋内)	※B種	※B種	鉄鋼面	※B種	※B種・A種	亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具 亜鉛めっき鋼面)	※B種	※B種	・CL	クリヤラッカー塗り	※B種	※A種	※B種・A種	・NAD	アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り	※B種	※A種	※B種・A種	・DP	耐候性塗料塗り 上塗り塗料等級 ・1級・2級 ・3級	鉄鋼面	表7.8.1	表7.8.1	亜鉛めっき鋼面 コンクリート面及びECP面	表7.8.2	表7.8.2	・EP-G	つや有合成樹脂エマルジョン ペイント塗り	コンクリート面	※B種	※B種・A種	モルタル面	※B種	※B種・A種	プラスター面	※B種	※B種・A種	せっこうボード面	※B種	※B種・A種	その他ボード面	※B種	※B種・A種	屋内木部	※B種	※A種	屋内鉄鋼面	※B種	※A種・B種	屋内亜鉛めっき鋼面	※A種	※A種・B種	・EP	合成樹脂エマルジョン ペイント塗り	コンクリート面	※B種	※B種・A種	モルタル面	※B種	※B種・A種	プラスター面	※B種	※B種・A種	せっこうボード面 その他ボード面	※B種	※B種・A種	・UC	ウレタン樹脂ワニス塗り	コンクリート面	※B種	※B種・A種	モルタル面	※B種	※B種・A種	・ステイン ・オイルステイン塗り	ウレタン樹脂ワニス塗り	コンクリート面	表7.12.1	表7.12.1	モルタル面	表7.12.1	表7.12.1	・WP	木材保護塗料塗り	※B種	※B種	
略号	塗装	塗装面	塗替え	新規																																																																																															
・SOP	合成樹脂調合ペイント塗り 塗料の種類 ※1種	木部(屋外)	※B種	※A種																																																																																															
		木部(屋内)	※B種	※B種																																																																																															
		鉄鋼面	※B種	※B種・A種																																																																																															
		亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具 亜鉛めっき鋼面)	※B種	※B種																																																																																															
・CL	クリヤラッカー塗り	※B種	※A種	※B種・A種																																																																																															
・NAD	アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り	※B種	※A種	※B種・A種																																																																																															
・DP	耐候性塗料塗り 上塗り塗料等級 ・1級・2級 ・3級	鉄鋼面	表7.8.1	表7.8.1																																																																																															
		亜鉛めっき鋼面 コンクリート面及びECP面	表7.8.2	表7.8.2																																																																																															
・EP-G	つや有合成樹脂エマルジョン ペイント塗り	コンクリート面	※B種	※B種・A種																																																																																															
		モルタル面	※B種	※B種・A種																																																																																															
		プラスター面	※B種	※B種・A種																																																																																															
		せっこうボード面	※B種	※B種・A種																																																																																															
		その他ボード面	※B種	※B種・A種																																																																																															
		屋内木部	※B種	※A種																																																																																															
		屋内鉄鋼面	※B種	※A種・B種																																																																																															
		屋内亜鉛めっき鋼面	※A種	※A種・B種																																																																																															
・EP	合成樹脂エマルジョン ペイント塗り	コンクリート面	※B種	※B種・A種																																																																																															
		モルタル面	※B種	※B種・A種																																																																																															
		プラスター面	※B種	※B種・A種																																																																																															
		せっこうボード面 その他ボード面	※B種	※B種・A種																																																																																															
・UC	ウレタン樹脂ワニス塗り	コンクリート面	※B種	※B種・A種																																																																																															
		モルタル面	※B種	※B種・A種																																																																																															
・ステイン ・オイルステイン塗り	ウレタン樹脂ワニス塗り	コンクリート面	表7.12.1	表7.12.1																																																																																															
		モルタル面	表7.12.1	表7.12.1																																																																																															
・WP	木材保護塗料塗り	※B種	※B種																																																																																																

環境配慮改修工事	特記事項																																															
1 石綿含有建材の除去工事	<p>[9.1.3~9.1.5]</p> <table border="1"> <tr> <th>石綿含有建材の種類</th> <th>使用部位</th> <th>使用材料</th> <th>除去工法</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">飛散性 ・石綿含有吹付材</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> <td>※9.1.3による</td> </tr> <tr> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非飛散性 ・石綿含有保温材</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> <td>※9.1.3による</td> </tr> <tr> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非飛散性 ・石綿含有成形板等</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">・けい酸カルシウム板</td> <td>※9.1.5による</td> </tr> <tr> <td>・</td> </tr> </table> <p>石綿含有吹付け材の飛散防止処置 ※湿潤化 固形化</p> <p>・石綿含有仕上塗材の除去 使用部位 () 使用材料 () 除去工法 ※厚生労働省「石綿飛散漏洩防止対策徹底マニュアル」による工法の内、飛散防止に関し隔離措置と同等と判断できる工法</p> <p>除去範囲 ※図示 試験施工 ※行わない ・行う</p> <p>処分 管理型・安定型を確認の上、廃棄物処理法による許可を受けた施設で適切に処理すること。 [9.1.3]</p> <p>石綿粉じん濃度測定 ※建築物石綿含有建材調査報告書により、監督職員と協議する。 [9.1.1]</p> <table border="1"> <tr> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th>測定名称</th> <th>測定点</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">処理作業前</td> <td rowspan="2">・処理作業室内 ・施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>測定1</td> <td>※2点 ・3点</td> </tr> <tr> <td>測定2</td> <td>※2点</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">処理作業中</td> <td rowspan="3">・処理作業室内 ※セキュリティゾーン入口 ※集じん、排気装置の排出口 (処理作業室外の場合)</td> <td>測定3</td> <td>※2点</td> </tr> <tr> <td>測定4</td> <td>※1点</td> </tr> <tr> <td>測定5</td> <td>※1点</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">処理作業後 (隔離シート撤去前)</td> <td rowspan="2">※施工区画周辺又は敷地境界 ・処理作業室内 ・施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>測定6</td> <td>※4方向 各1点</td> </tr> <tr> <td>測定7</td> <td>※2点以上</td> </tr> <tr> <td>測定方法</td> <td></td> <td>測定8</td> <td>※4方向 各1点</td> </tr> </table> <p>測定方法 ・JIS K3850-1に基づいた測定 (・測定4 ・測定5 ・測定6 ・測定7 ・) ・自動測定器による測定 (・測定4 ・測定5 ・)</p>	石綿含有建材の種類	使用部位	使用材料	除去工法	飛散性 ・石綿含有吹付材			※9.1.3による	・	非飛散性 ・石綿含有保温材			※9.1.3による	・	非飛散性 ・石綿含有成形板等		・けい酸カルシウム板	※9.1.5による	・	測定時期	測定場所	測定名称	測定点	処理作業前	・処理作業室内 ・施工区画周辺又は敷地境界	測定1	※2点 ・3点	測定2	※2点	処理作業中	・処理作業室内 ※セキュリティゾーン入口 ※集じん、排気装置の排出口 (処理作業室外の場合)	測定3	※2点	測定4	※1点	測定5	※1点	処理作業後 (隔離シート撤去前)	※施工区画周辺又は敷地境界 ・処理作業室内 ・施工区画周辺又は敷地境界	測定6	※4方向 各1点	測定7	※2点以上	測定方法		測定8	※4方向 各1点
石綿含有建材の種類	使用部位	使用材料	除去工法																																													
飛散性 ・石綿含有吹付材			※9.1.3による																																													
			・																																													
非飛散性 ・石綿含有保温材			※9.1.3による																																													
			・																																													
非飛散性 ・石綿含有成形板等		・けい酸カルシウム板	※9.1.5による																																													
			・																																													
測定時期	測定場所	測定名称	測定点																																													
処理作業前	・処理作業室内 ・施工区画周辺又は敷地境界	測定1	※2点 ・3点																																													
		測定2	※2点																																													
処理作業中	・処理作業室内 ※セキュリティゾーン入口 ※集じん、排気装置の排出口 (処理作業室外の場合)	測定3	※2点																																													
		測定4	※1点																																													
		測定5	※1点																																													
処理作業後 (隔離シート撤去前)	※施工区画周辺又は敷地境界 ・処理作業室内 ・施工区画周辺又は敷地境界	測定6	※4方向 各1点																																													
		測定7	※2点以上																																													
測定方法		測定8	※4方向 各1点																																													



(注1) ひび割れ幅(mm)が、A)0.2以上1.0以下、B)0.2以上0.3未満、C)0.3以上0.5未満、D)0.5以上1.0以下を示す
A)は自動式低圧エポキシ樹脂注入工法を示し、
B)・C)・D)は手動式エポキシ樹脂注入工法、機械式エポキシ樹脂注入工法を示す。

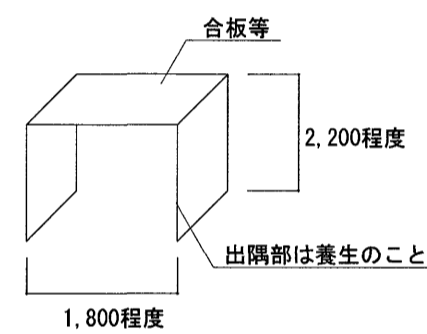


高知市八反町1丁目8番14号

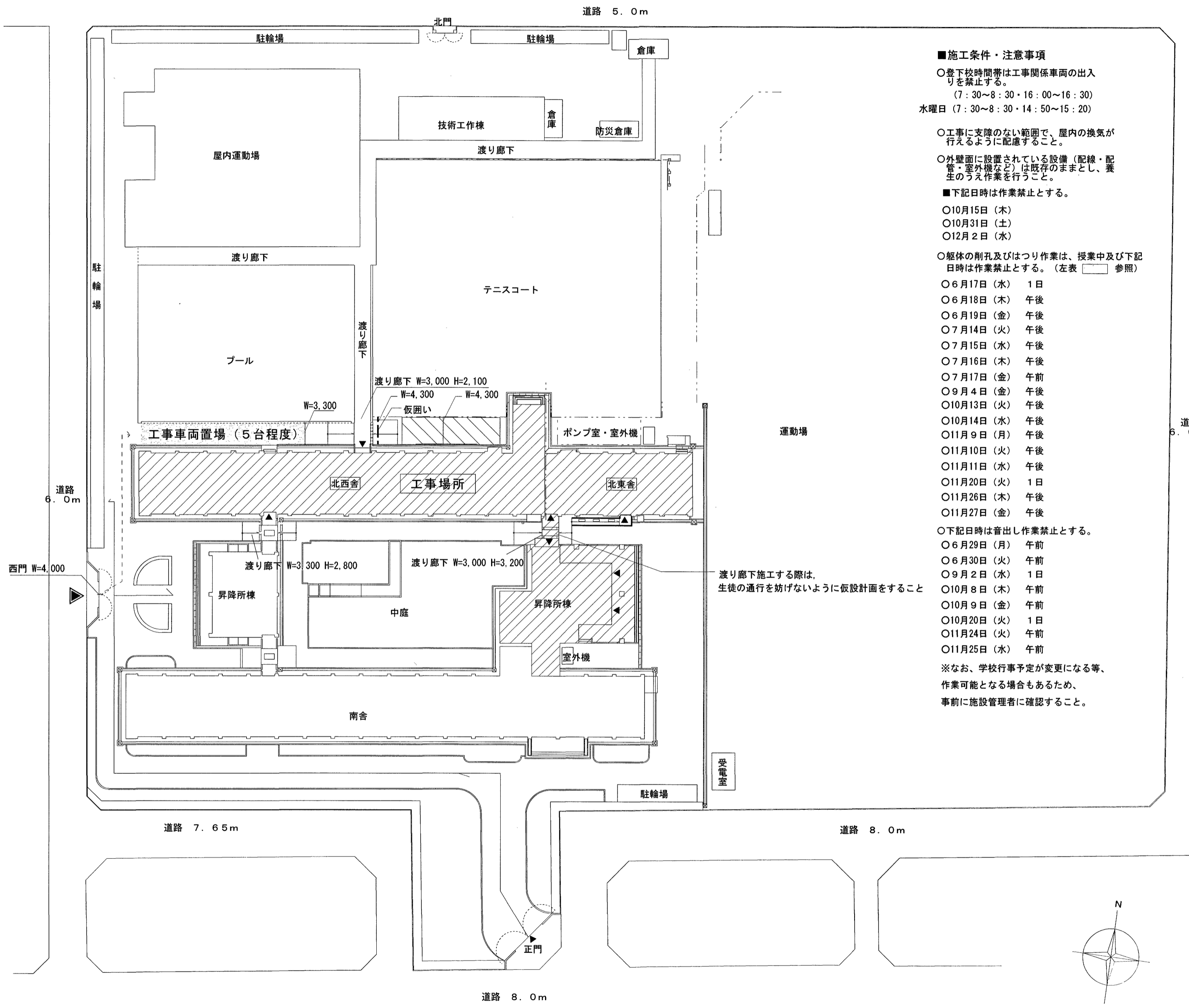
付近見取図

凡例:

- : 工事対象建物を示す
- : 工事資機材置場を示す
- : 工事車両置場を示す (5台程度)
- : 施設利用者出入口、進入経路
※合板等にて足場及び足場と建物の隙間を三方養生すること。
- : 工事関係者出入口、進入経路
- : 仮囲い: ガードフェンス H=1,800程度

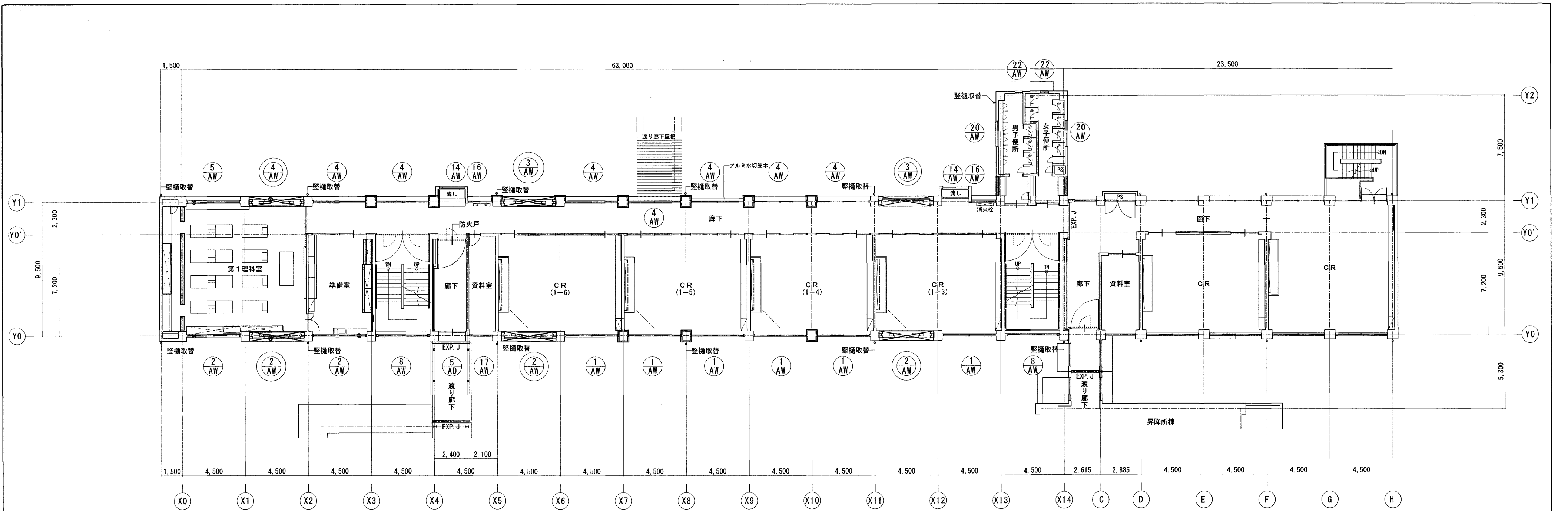


校時表	月	火	水	木	金
朝読書	8:30~8:40		8:30~8:40		
朝学活	8:40~8:47		8:40~8:47		
1時間目	8:55~9:40		8:55~9:45		
休み時間	9:40~9:50		9:45~9:55		
2時間目	9:50~10:35		9:55~10:45		
休み時間	10:35~10:45		10:45~10:55		
3時間目	10:45~11:30		10:55~11:45		
休み時間	11:30~11:40		11:45~11:55		
4時間目	11:40~12:25		11:55~12:45		
給食	12:25~13:00		12:45~13:20		
休み時間	13:00~13:10		13:20~13:30		
5時間目	13:15~14:00		13:35~14:25		
休み時間	14:00~14:10		14:25~14:35		
6時間目	14:10~14:55		14:35~15:25		
掃除	掃除無し		15:25~15:40 (水曜日は掃除無し)		

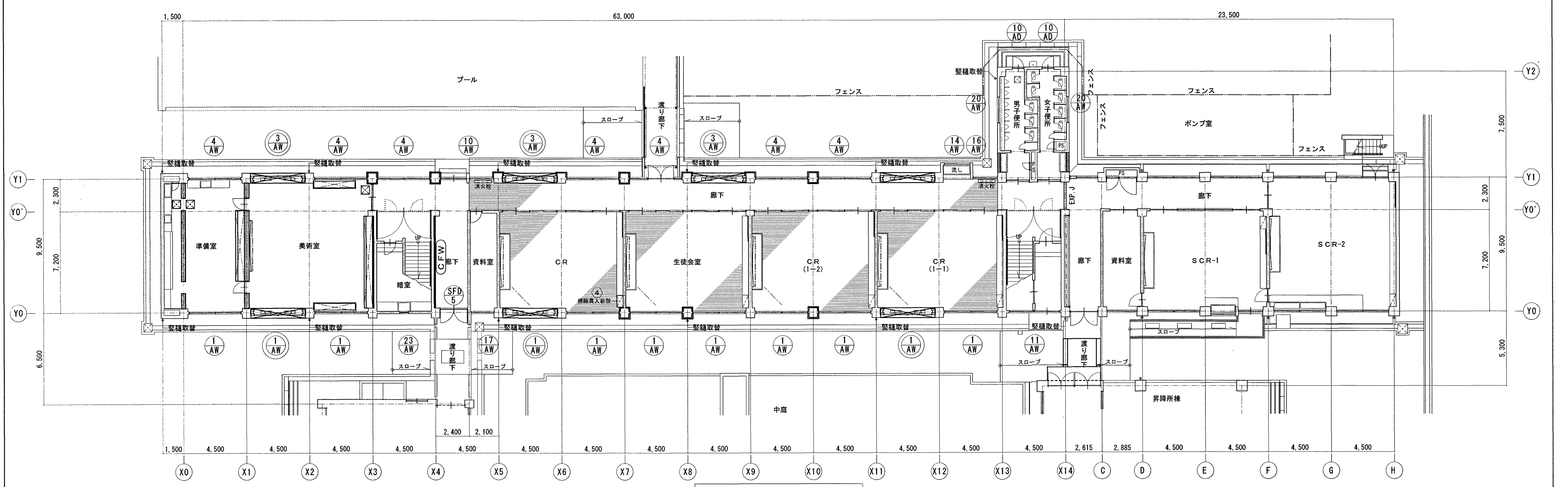


- 施工条件・注意事項
- 登下校時間帯は工事関係車両の出入りを禁止する。
(7:30~8:30・16:00~16:30)
水曜日 (7:30~8:30・14:50~15:20)
 - 工事に支障のない範囲で、屋内の換気が行えるように配慮すること。
 - 外壁面に設置されている設備(配線・配管・室外機など)は既存のままとし、養生のうえ作業を行うこと。
 - 下記日時は作業禁止とする。
○10月15日(木)
○10月31日(土)
○12月2日(水)
 - 躯体の削孔及びはつり作業は、授業中及び下記日時は作業禁止とする。(左表 参照)
 - 6月17日(水) 1日
○6月18日(木) 午後
○6月19日(金) 午後
○7月14日(火) 午後
○7月15日(水) 午後
○7月16日(木) 午後
○7月17日(金) 午前
○9月4日(金) 午後
○10月13日(火) 午後
○10月14日(水) 午後
○11月9日(月) 午後
○11月10日(火) 午後
○11月11日(水) 午後
○11月20日(火) 1日
○11月26日(木) 午後
○11月27日(金) 午後
 - 下記日時は音出し作業禁止とする。
○6月29日(月) 午前
○6月30日(火) 午前
○9月2日(水) 1日
○10月8日(木) 午前
○10月9日(金) 午前
○10月20日(火) 1日
○11月24日(火) 午前
○11月25日(水) 午前
- ※なお、学校行事予定が変更になる等、作業可能となる場合もあるため、事前に施設管理者に確認すること。

配置図・仮設計画図 S=1/500

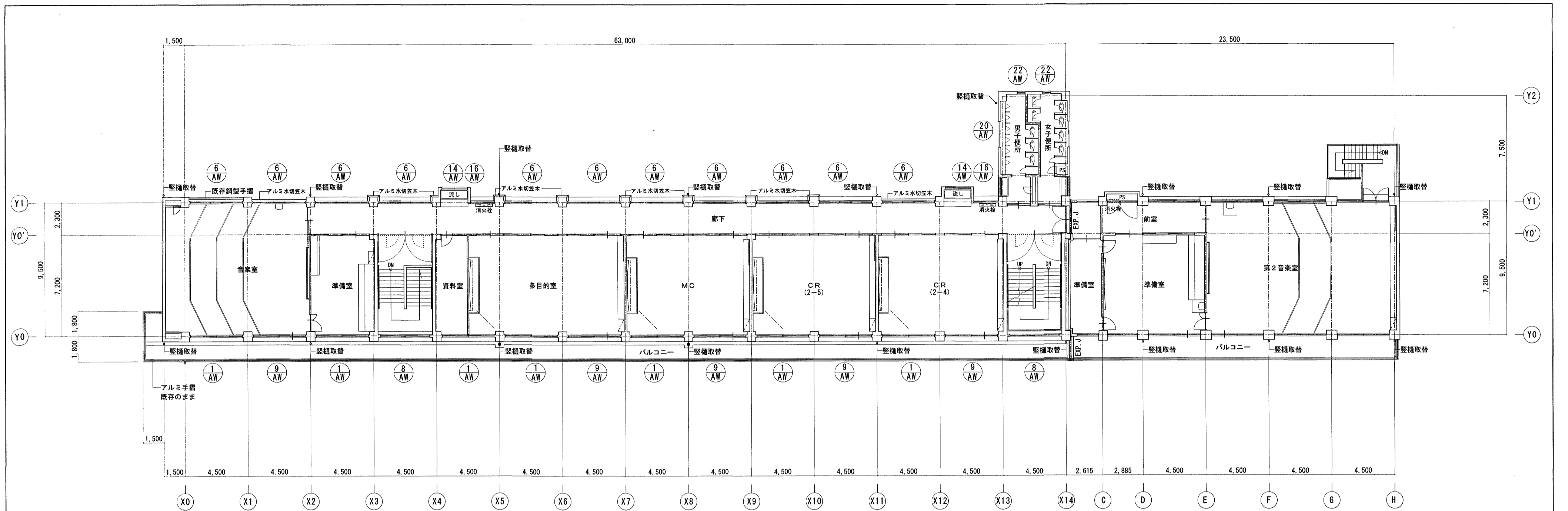


2階平面図 S=1/200

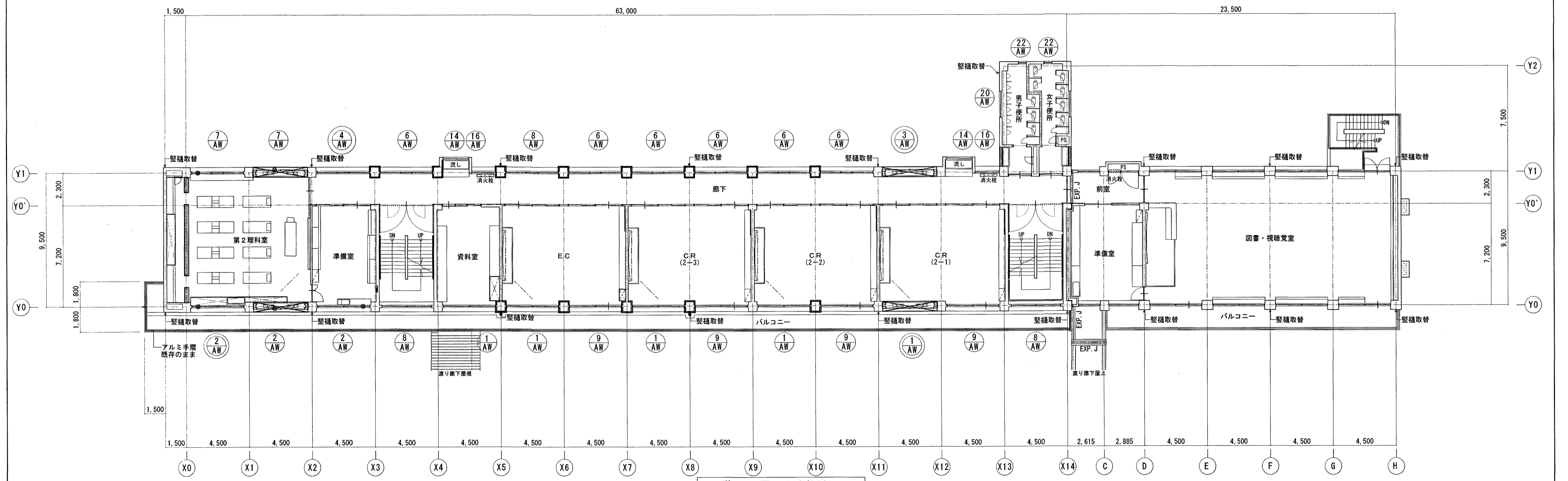


1階平面図 S=1/200

<p>高知市 都市建設部 公共建築課</p>		<p>工事名</p> <p>城北中学校北舎・昇降所棟外壁改修工事</p>	<p>係</p> <p>大塚</p>	<p>係長</p> <p>山口</p>	<p>課長補佐</p> <p>松本</p>	<p>課長</p>	<p>図面番号</p> <p>A-06</p>
		<p>図面名 北舎1・2階平面図</p> <p>2025 04 縮尺 1/200</p>	<p>作図</p>	<p>年</p>	<p>月</p>	<p>日</p>	

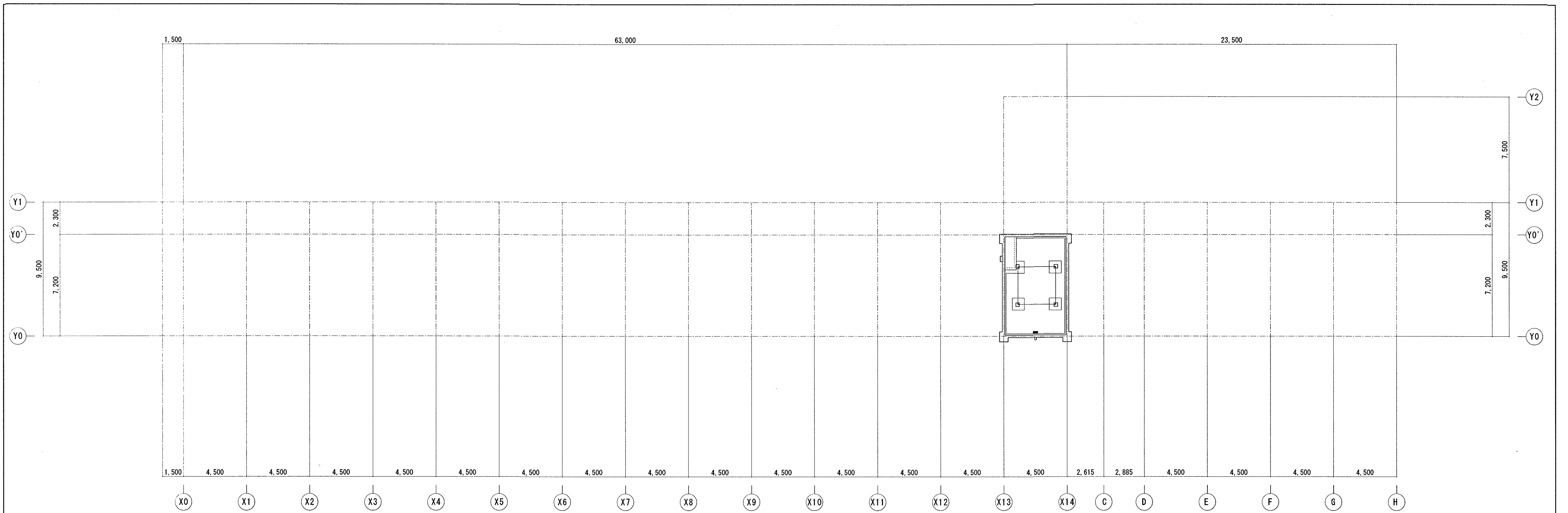


4階平面図 S=1/200

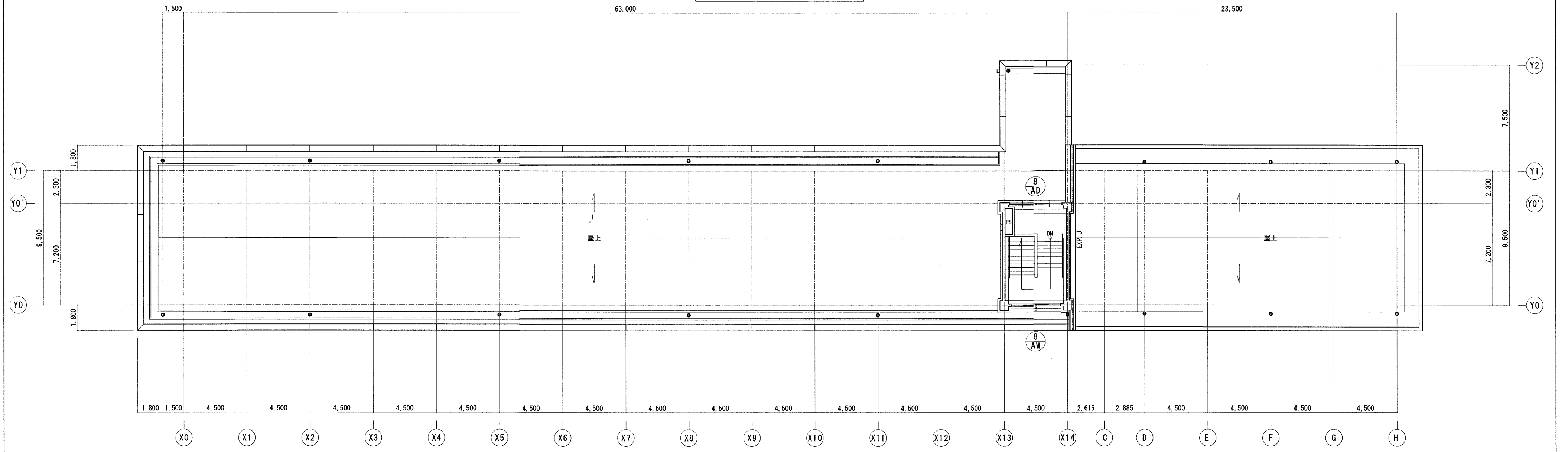


3階平面図 S=1/200

高知市 都市建設部 公共建築課		工事名	城北中学校北舎・昇降所棟外壁改修工事	係	大塚	係長	豊田	課長補佐	濱口	課長	松本	図面番号	A-07
		図面名	北舎3・4階平面図	2025.04	縮尺	1/200	作図	年	月	日			

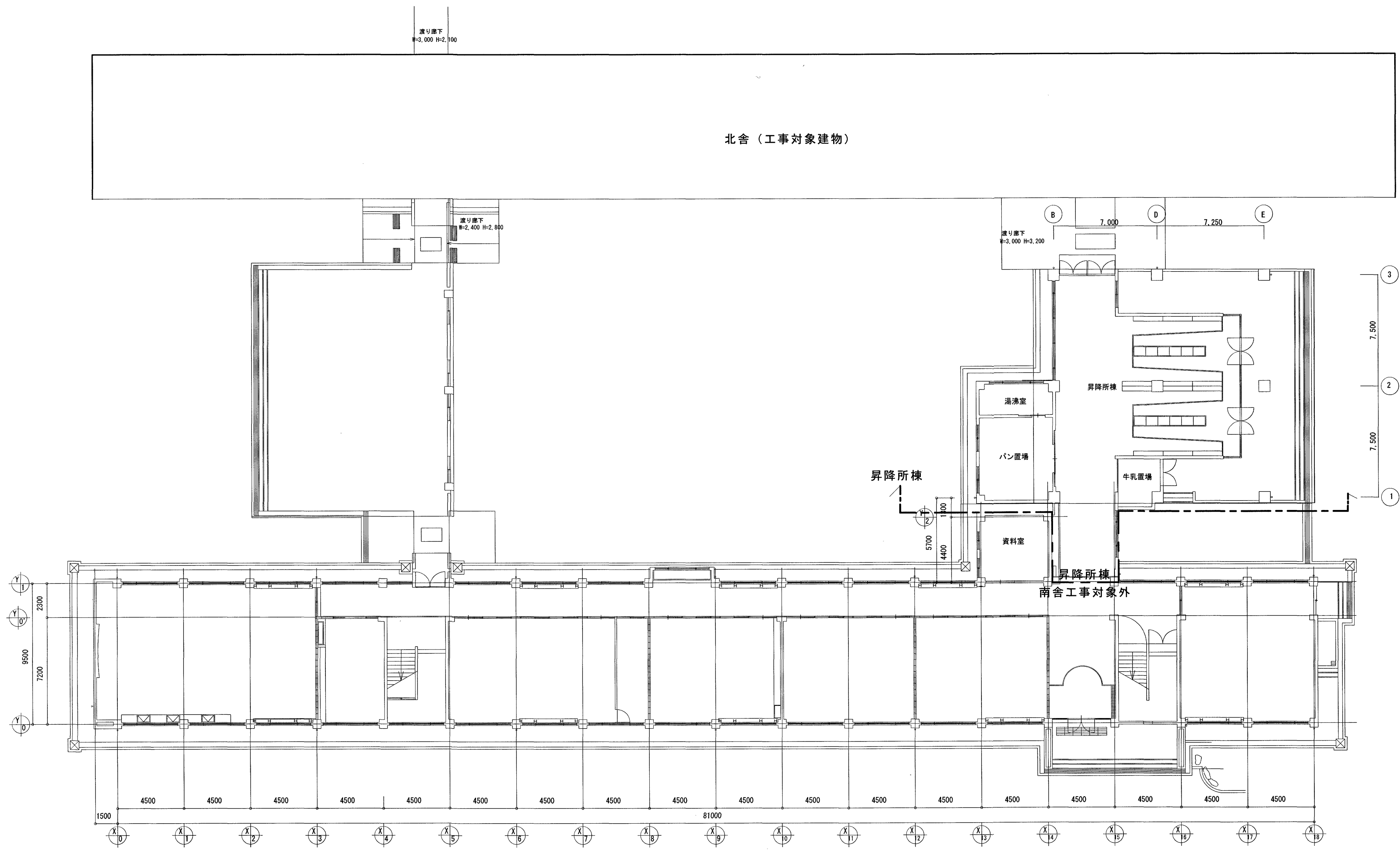


PH平面図 S=1/200



屋上平面図 S=1/200

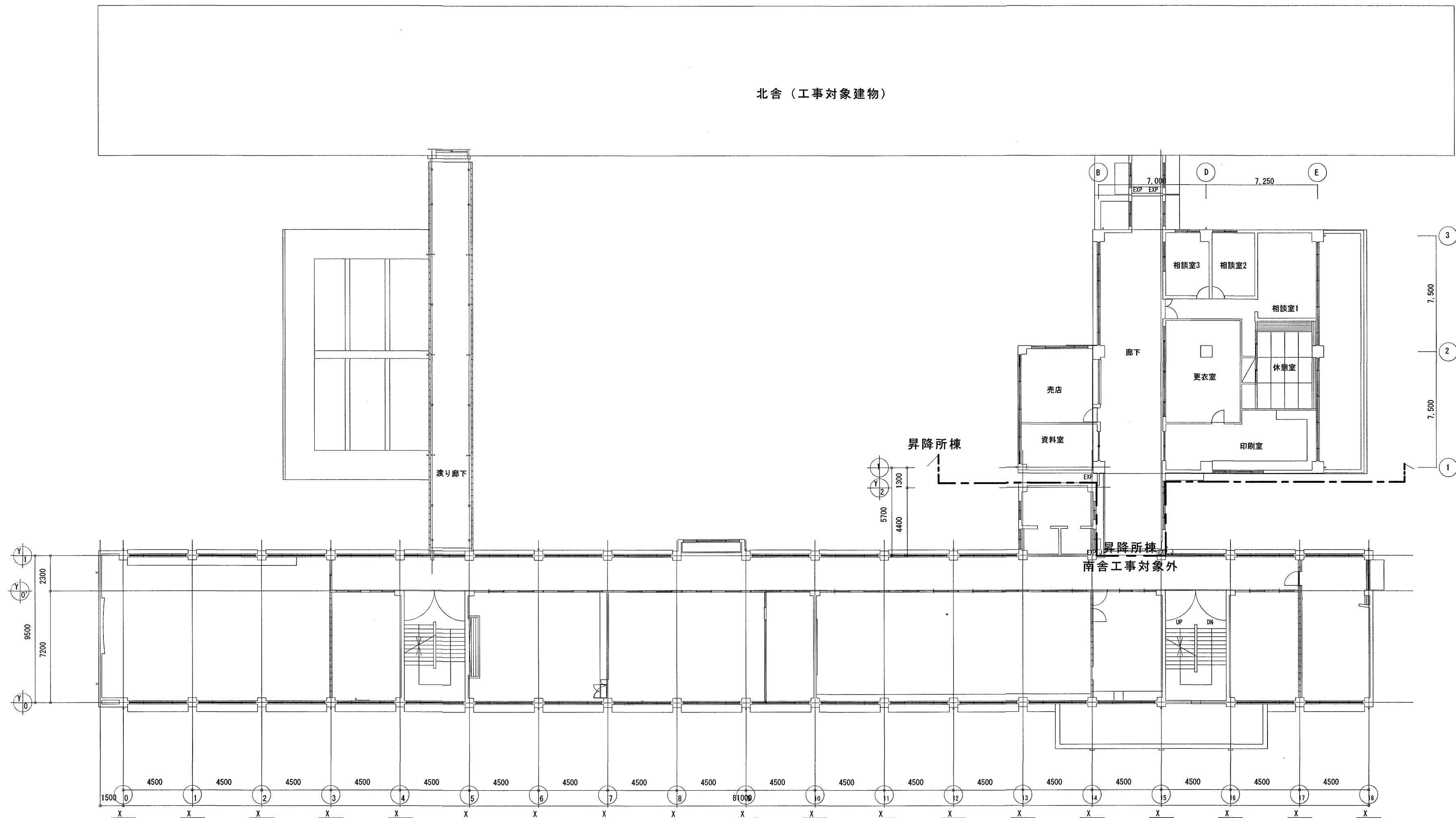
		高知市 都市建設部 公共建築課		工事名 城北中学校北舎・昇降所棟外壁改修工事		係長 大塚		課長補佐 山口		課長 松本		図面番号 A-08	
				図面名 北舎屋上平面図		2025.04 縮尺 1/200		作図		年 月 日			



昇降所棟 1階平面図 1/200

参考図

		高知市 都市建設部 公共建築課		工事名		係	係長	課長補佐	課長	図面番号
				城北中学校北舎・昇降所棟外壁改修工事						A-09
				図面名 昇降所棟 1階平面図【参考図】 2025.04 縮尺 1/200		作図		年	月	日



昇降所棟2階平面図 1/200

参考図

		高知市 都市建設部 公共建築課		工事名 城北中学校北舎・昇降所棟外壁改修工事		係	係長	課長補佐	課長	図面番号 A-10
				図面名 昇降所棟2階平面図【参考図】 2025.04 縮尺 1/200		作図		年 月 日		



北舎 南立面図 1/200



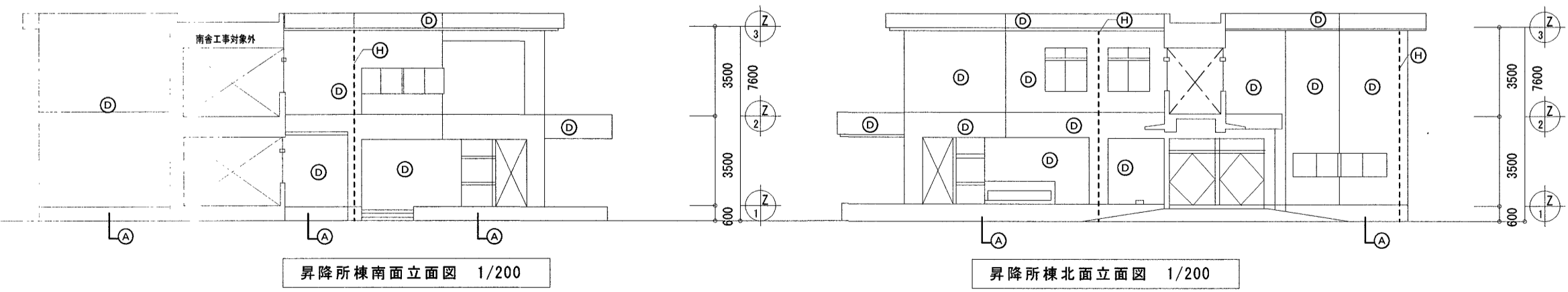
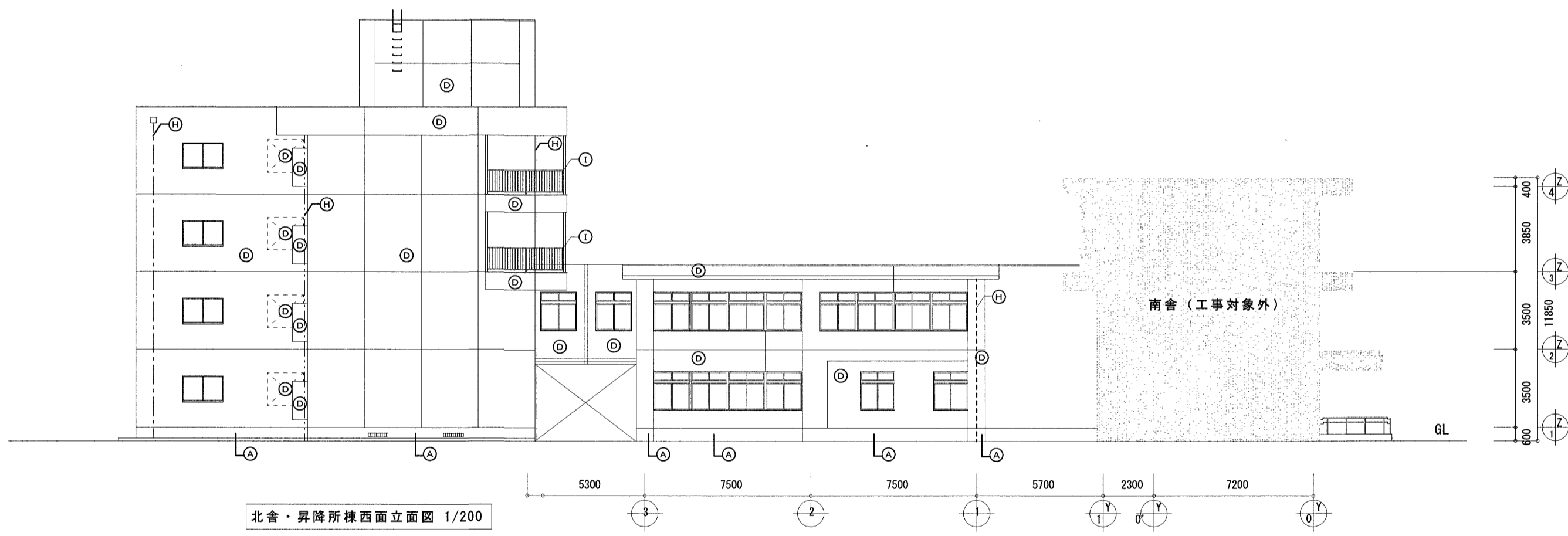
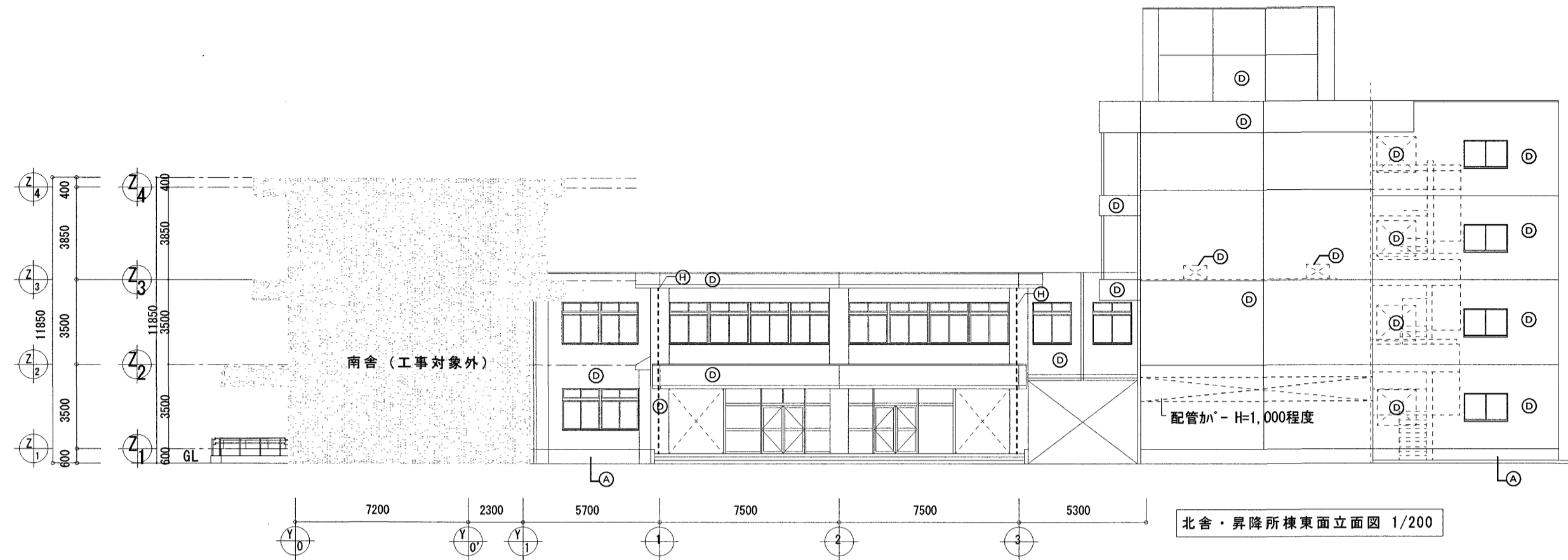
北舎 北立面図 1/200

【外壁改修仕様：想定数量表】
 ※数量及び工法は予定とし、施工数量調査の結果により変更の対象とする。

損傷状態（部位）	工法	数量
ひび割れ部（0.2mm~1.0mm）	自動式低圧E*キ樹脂注入工法	20.0m
欠損部	欠損部E*キ樹脂モルタル充填工法	1.0㎡
浮き	注入口付アンカービ'ソニック'全面E*キ樹脂注入工法	10.0㎡

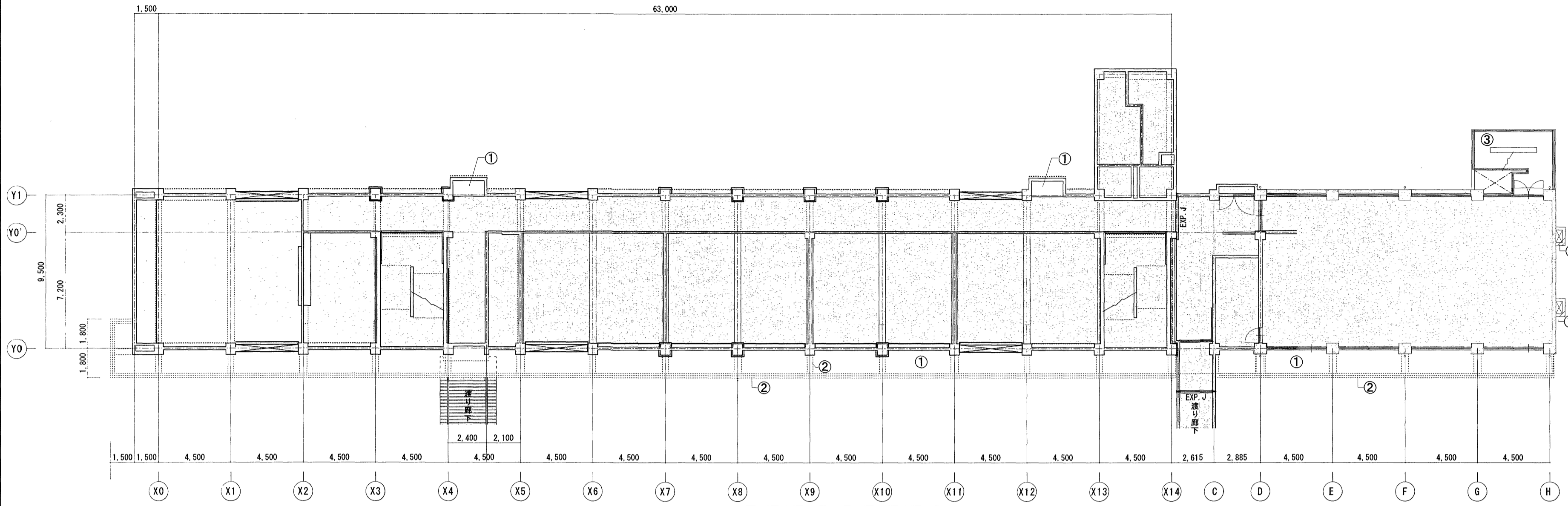
記号	改修前	改修後
(A)	珪藻土引下地 外装薄塗材E コンクリート打放し	水洗い【改修】
(B)	コンクリート打放し 外装薄塗材E	水洗い【改修】
(C)	押出成形セメント板 複層塗材E	水洗い→下地調整→複層塗材E【改修】
(D)	珪藻土引下地 複層塗材E	水洗い→下地調整→複層塗材E【改修】
(E)	7M水切笠木 W=125	【既存のまま】
(F)	7M水切り	【既存のまま】
(G)	コンクリート下地 防水珪藻土コシ	水洗い→塗膜防水【改修】
(H)	壁樋 カラVP管100【撤去】	たてどいカラVPφ100（受金物共）【改修】
(I)	7M製転落防止手摺	【既存のまま】

※ 北舎・昇降所棟：特記なき外埠建具及び建具周リシリング、二重水切はMS-2 15×10とする。
 ※ 目地シリング PU-2(20×10)たてよこ共撤去・新設とする。
 ※ たてどい新設に伴い、2階・3階の既存ト'防錆処理（コ'ル'ル'）を行うこと



北舎・昇降所棟棟		
記号	改修前	改修後
(A)	珪砂利刷毛引下地 外装薄塗材E コンクリート打放し	水洗い【改修】
(B)	コンクリート打放し 外装薄塗材E	水洗い【改修】
(C)	押出成形セメント板 複層塗材E	水洗い→下地調整→複層塗材E【改修】
(D)	珪砂利刷毛引下地 複層塗材E	水洗い→下地調整→複層塗材E【改修】
(E)	7mm水切笠木 W=125	【既存のまま】
(F)	7mm水切り	【既存のまま】
(G)	コンクリート下地 防水珪砂利押しE	水洗い→ポリマーセメントペースト塗り→塗膜防水【改修】
(H)	縦樋 ｶｰVP管100【撤去】	たてどいｶｰVPφ100 (受金物共)【改修】
(I)	7mm製転落防止手摺	【既存のまま】

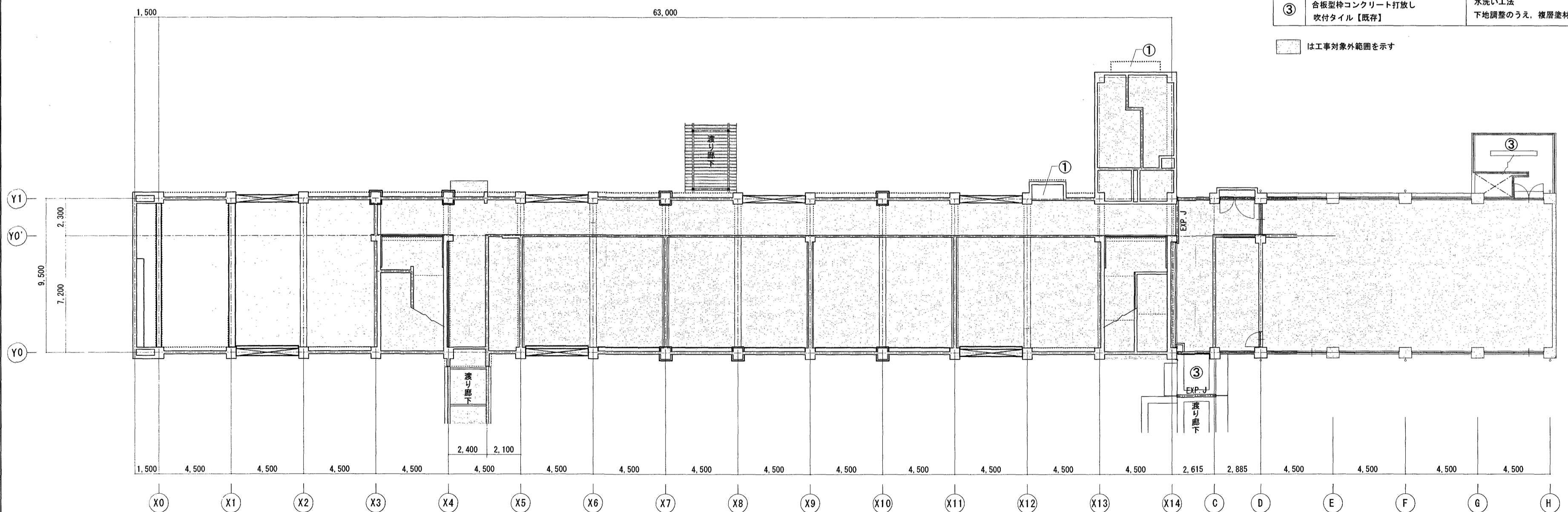
※ 北舎・昇降所棟：特記なき外部建具及び建具周リシーリング二重水切りはMS-2 15×10とする。
 ※ 目地シーリング PU-2(20×10)たてよこ共撤去・新設とする。
 ※ たてどい新設に伴い、2階・3階の既存ドレン防錆処理(コルカタール)を行うこと



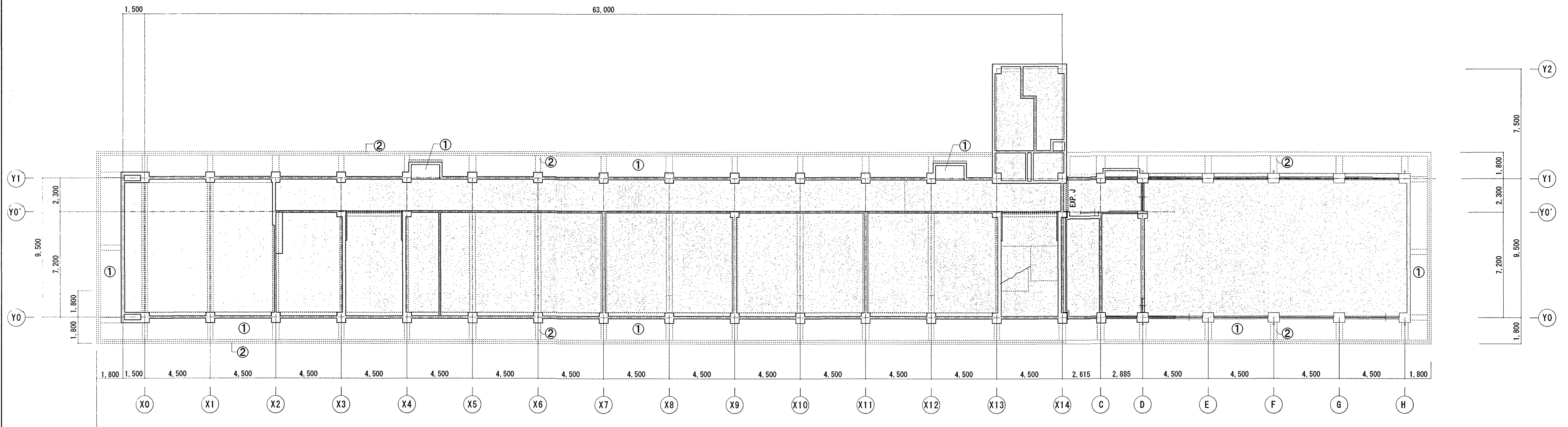
2階天井伏図 S=1/200

符号	既存・天井仕上	改修・天井仕上
①	軒裏：コンクリート打ち放し仕上げ 外装薄塗材E吹付	水洗い工法 外装薄塗材E【改修】
②	モルタル塗り刷毛引き 複層塗材E吹付	水洗い工法 下地調整のうえ、複層塗材E【改修】
③	合板型枠コンクリート打放し 吹付タイル【既存】	水洗い工法 下地調整のうえ、複層塗材E【改修】

■ は工事対象外範囲を示す



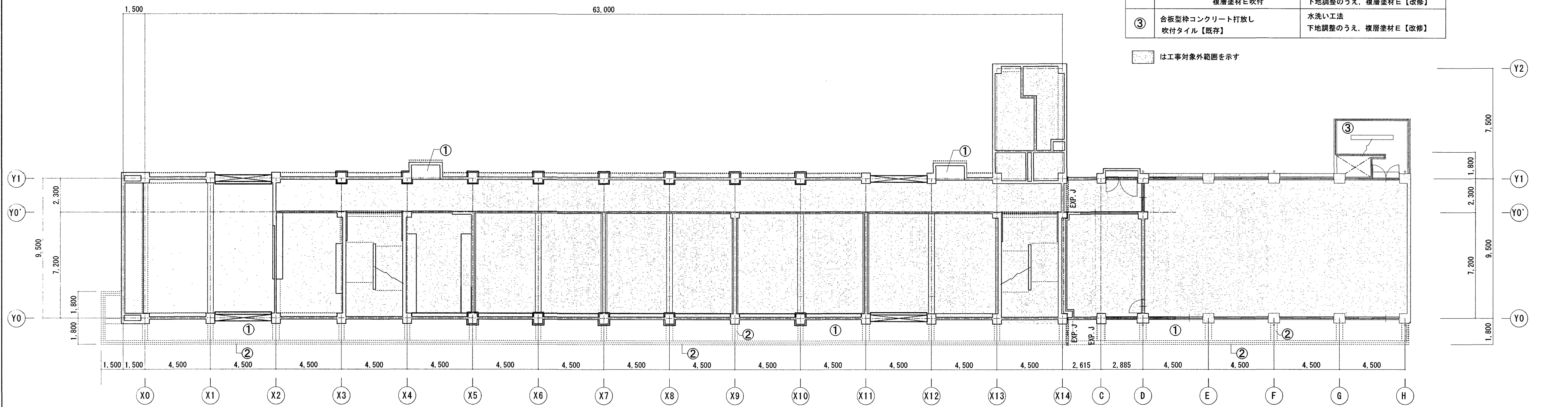
1階天井伏図 S=1/200



改修4階天井伏図 S=1/200

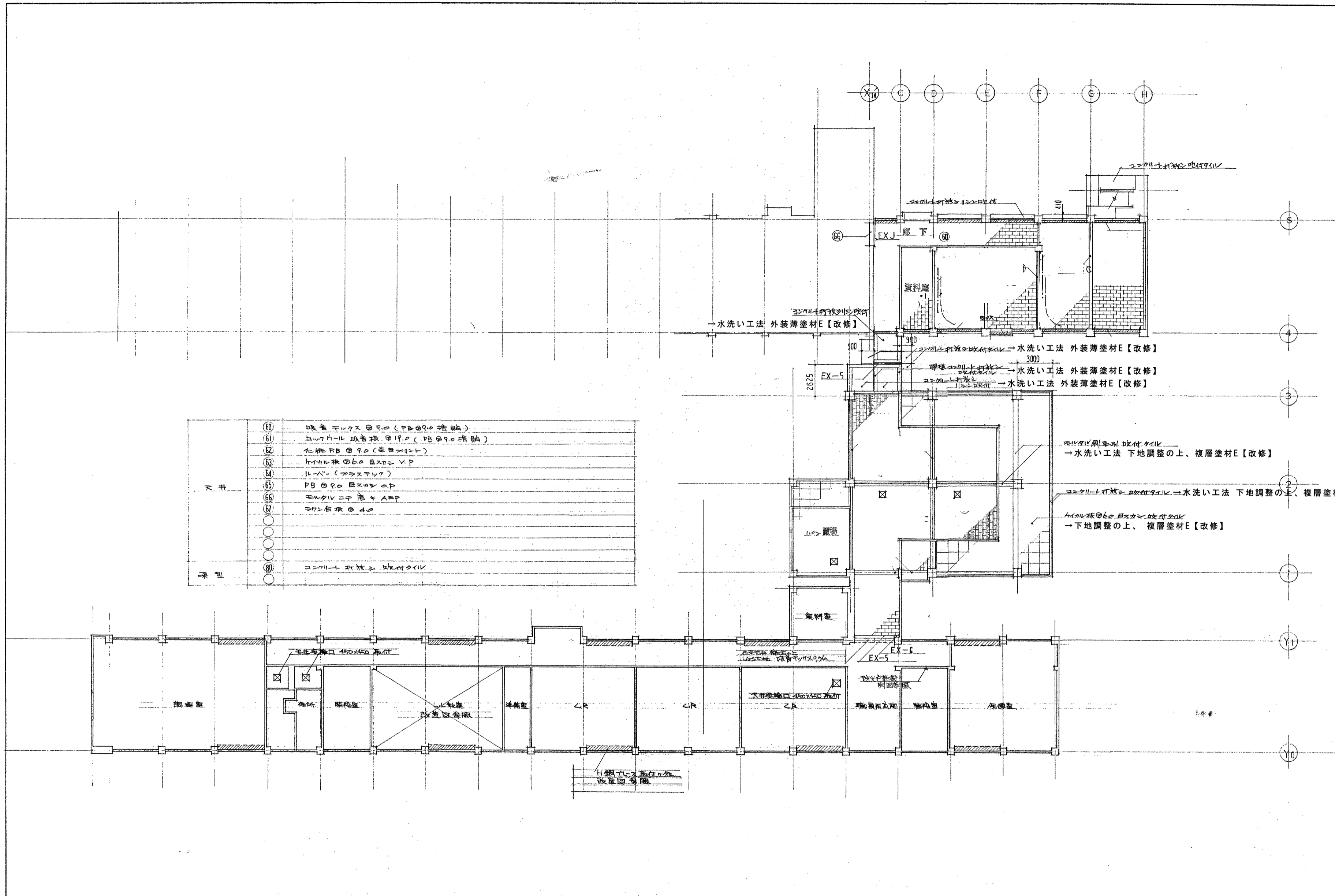
符号	既存・天井仕上	改修・天井仕上
①	軒裏：コンクリート打ち放し仕上げ 外装薄塗材E吹付	水洗い工法 外装薄塗材E【改修】
②	モルタル塗り刷毛引き 複層塗材E吹付	水洗い工法 下地調整のうえ、複層塗材E【改修】
③	合板型枠コンクリート打放し 吹付タイル【既存】	水洗い工法 下地調整のうえ、複層塗材E【改修】

は工事対象外範囲を示す

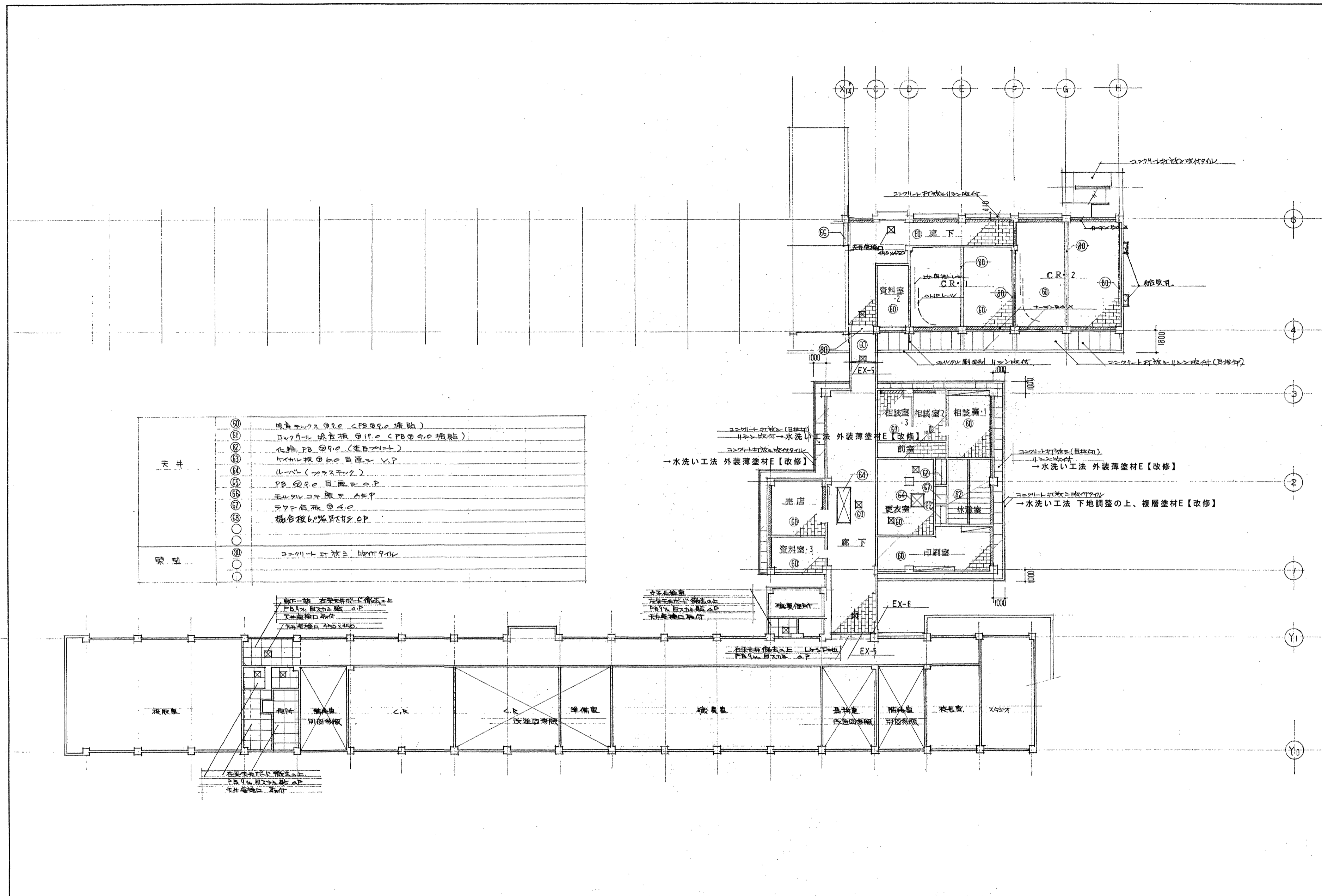


改修3階天井伏図 S=1/200

				高知市 都市建設部 公共建築課		工事名 城北中学校北舎・昇降所棟外壁改修工事		係長 大塚		課長補佐 山口		課長 松本		図面番号 A-14	
				図面名 北舎天井伏図2		2025.04 縮尺 1/200		作図 年 月 日							



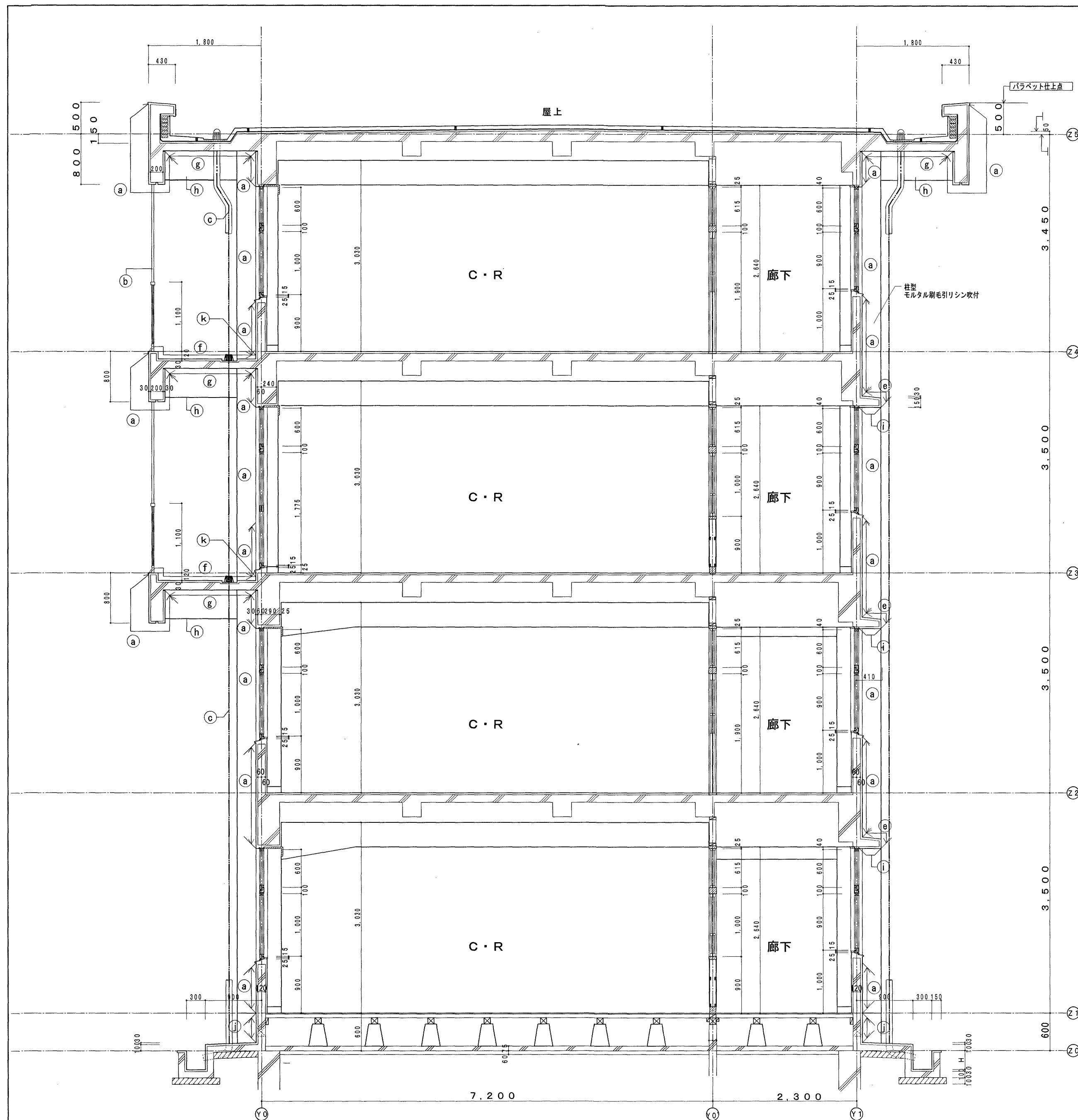
⑨	化粧フェリス⑨.0 (PB⑨.0 積貼)
⑩	化粧PB⑨.0 (連目シート)
⑪	化粧PB⑨.0 (連目シート)
⑫	化粧PB⑨.0 (連目シート)
⑬	化粧PB⑨.0 (連目シート)
⑭	化粧PB⑨.0 (連目シート)
⑮	化粧PB⑨.0 (連目シート)
⑯	化粧PB⑨.0 (連目シート)
⑰	化粧PB⑨.0 (連目シート)
⑱	化粧PB⑨.0 (連目シート)
⑲	化粧PB⑨.0 (連目シート)
⑳	化粧PB⑨.0 (連目シート)
㉑	化粧PB⑨.0 (連目シート)
㉒	化粧PB⑨.0 (連目シート)
㉓	化粧PB⑨.0 (連目シート)
㉔	化粧PB⑨.0 (連目シート)
㉕	化粧PB⑨.0 (連目シート)
㉖	化粧PB⑨.0 (連目シート)
㉗	化粧PB⑨.0 (連目シート)
㉘	化粧PB⑨.0 (連目シート)
㉙	化粧PB⑨.0 (連目シート)
㉚	化粧PB⑨.0 (連目シート)
㉛	化粧PB⑨.0 (連目シート)
㉜	化粧PB⑨.0 (連目シート)
㉝	化粧PB⑨.0 (連目シート)
㉞	化粧PB⑨.0 (連目シート)
㉟	化粧PB⑨.0 (連目シート)
㊱	化粧PB⑨.0 (連目シート)
㊲	化粧PB⑨.0 (連目シート)
㊳	化粧PB⑨.0 (連目シート)
㊴	化粧PB⑨.0 (連目シート)
㊵	化粧PB⑨.0 (連目シート)
㊶	化粧PB⑨.0 (連目シート)
㊷	化粧PB⑨.0 (連目シート)
㊸	化粧PB⑨.0 (連目シート)
㊹	化粧PB⑨.0 (連目シート)
㊺	化粧PB⑨.0 (連目シート)
㊻	化粧PB⑨.0 (連目シート)
㊼	化粧PB⑨.0 (連目シート)
㊽	化粧PB⑨.0 (連目シート)
㊾	化粧PB⑨.0 (連目シート)
㊿	化粧PB⑨.0 (連目シート)
1	化粧PB⑨.0 (連目シート)
2	化粧PB⑨.0 (連目シート)
3	化粧PB⑨.0 (連目シート)
4	化粧PB⑨.0 (連目シート)
5	化粧PB⑨.0 (連目シート)
6	化粧PB⑨.0 (連目シート)
7	化粧PB⑨.0 (連目シート)
8	化粧PB⑨.0 (連目シート)
9	化粧PB⑨.0 (連目シート)
10	化粧PB⑨.0 (連目シート)
11	化粧PB⑨.0 (連目シート)
12	化粧PB⑨.0 (連目シート)
13	化粧PB⑨.0 (連目シート)
14	化粧PB⑨.0 (連目シート)
15	化粧PB⑨.0 (連目シート)
16	化粧PB⑨.0 (連目シート)
17	化粧PB⑨.0 (連目シート)
18	化粧PB⑨.0 (連目シート)
19	化粧PB⑨.0 (連目シート)
20	化粧PB⑨.0 (連目シート)
21	化粧PB⑨.0 (連目シート)
22	化粧PB⑨.0 (連目シート)
23	化粧PB⑨.0 (連目シート)
24	化粧PB⑨.0 (連目シート)
25	化粧PB⑨.0 (連目シート)
26	化粧PB⑨.0 (連目シート)
27	化粧PB⑨.0 (連目シート)
28	化粧PB⑨.0 (連目シート)
29	化粧PB⑨.0 (連目シート)
30	化粧PB⑨.0 (連目シート)
31	化粧PB⑨.0 (連目シート)
32	化粧PB⑨.0 (連目シート)
33	化粧PB⑨.0 (連目シート)
34	化粧PB⑨.0 (連目シート)
35	化粧PB⑨.0 (連目シート)
36	化粧PB⑨.0 (連目シート)
37	化粧PB⑨.0 (連目シート)
38	化粧PB⑨.0 (連目シート)
39	化粧PB⑨.0 (連目シート)
40	化粧PB⑨.0 (連目シート)
41	化粧PB⑨.0 (連目シート)
42	化粧PB⑨.0 (連目シート)
43	化粧PB⑨.0 (連目シート)
44	化粧PB⑨.0 (連目シート)
45	化粧PB⑨.0 (連目シート)
46	化粧PB⑨.0 (連目シート)
47	化粧PB⑨.0 (連目シート)
48	化粧PB⑨.0 (連目シート)
49	化粧PB⑨.0 (連目シート)
50	化粧PB⑨.0 (連目シート)
51	化粧PB⑨.0 (連目シート)
52	化粧PB⑨.0 (連目シート)
53	化粧PB⑨.0 (連目シート)
54	化粧PB⑨.0 (連目シート)
55	化粧PB⑨.0 (連目シート)
56	化粧PB⑨.0 (連目シート)
57	化粧PB⑨.0 (連目シート)
58	化粧PB⑨.0 (連目シート)
59	化粧PB⑨.0 (連目シート)
60	化粧PB⑨.0 (連目シート)
61	化粧PB⑨.0 (連目シート)
62	化粧PB⑨.0 (連目シート)
63	化粧PB⑨.0 (連目シート)
64	化粧PB⑨.0 (連目シート)
65	化粧PB⑨.0 (連目シート)
66	化粧PB⑨.0 (連目シート)
67	化粧PB⑨.0 (連目シート)
68	化粧PB⑨.0 (連目シート)
69	化粧PB⑨.0 (連目シート)
70	化粧PB⑨.0 (連目シート)
71	化粧PB⑨.0 (連目シート)
72	化粧PB⑨.0 (連目シート)
73	化粧PB⑨.0 (連目シート)
74	化粧PB⑨.0 (連目シート)
75	化粧PB⑨.0 (連目シート)
76	化粧PB⑨.0 (連目シート)
77	化粧PB⑨.0 (連目シート)
78	化粧PB⑨.0 (連目シート)
79	化粧PB⑨.0 (連目シート)
80	化粧PB⑨.0 (連目シート)
81	化粧PB⑨.0 (連目シート)
82	化粧PB⑨.0 (連目シート)
83	化粧PB⑨.0 (連目シート)
84	化粧PB⑨.0 (連目シート)
85	化粧PB⑨.0 (連目シート)
86	化粧PB⑨.0 (連目シート)
87	化粧PB⑨.0 (連目シート)
88	化粧PB⑨.0 (連目シート)
89	化粧PB⑨.0 (連目シート)
90	化粧PB⑨.0 (連目シート)
91	化粧PB⑨.0 (連目シート)
92	化粧PB⑨.0 (連目シート)
93	化粧PB⑨.0 (連目シート)
94	化粧PB⑨.0 (連目シート)
95	化粧PB⑨.0 (連目シート)
96	化粧PB⑨.0 (連目シート)
97	化粧PB⑨.0 (連目シート)
98	化粧PB⑨.0 (連目シート)
99	化粧PB⑨.0 (連目シート)
100	化粧PB⑨.0 (連目シート)



天井	⑥0	吸音マックス⑨R.C. (PB⑨R.C. 透貼)
	⑥1	ロックウール吸音板⑩1F.C. (PB⑩R.C. 透貼)
	⑥2	化粧PB⑩R.C. (透貼)
	⑥3	化粧PB⑩R.C. (透貼)
	⑥4	レベル (マックス⑨R.C.)
	⑥5	PB⑩R.C. 目隠し①P
	⑥6	モルタルコンクリート①P
	⑥7	スチール①P
	⑥8	複合板6.0%目隠し①P
屋根	⑥9	コンクリート打放し①P

→水洗い工法 外装薄塗材E【改修】	⑥0	水洗い工法 外装薄塗材E【改修】
→水洗い工法 外装薄塗材E【改修】	⑥1	水洗い工法 外装薄塗材E【改修】
→水洗い工法 外装薄塗材E【改修】	⑥2	水洗い工法 外装薄塗材E【改修】
→水洗い工法 外装薄塗材E【改修】	⑥3	水洗い工法 外装薄塗材E【改修】
→水洗い工法 外装薄塗材E【改修】	⑥4	水洗い工法 外装薄塗材E【改修】
→水洗い工法 外装薄塗材E【改修】	⑥5	水洗い工法 外装薄塗材E【改修】
→水洗い工法 外装薄塗材E【改修】	⑥6	水洗い工法 外装薄塗材E【改修】
→水洗い工法 外装薄塗材E【改修】	⑥7	水洗い工法 外装薄塗材E【改修】
→水洗い工法 外装薄塗材E【改修】	⑥8	水洗い工法 外装薄塗材E【改修】
→水洗い工法 外装薄塗材E【改修】	⑥9	水洗い工法 外装薄塗材E【改修】

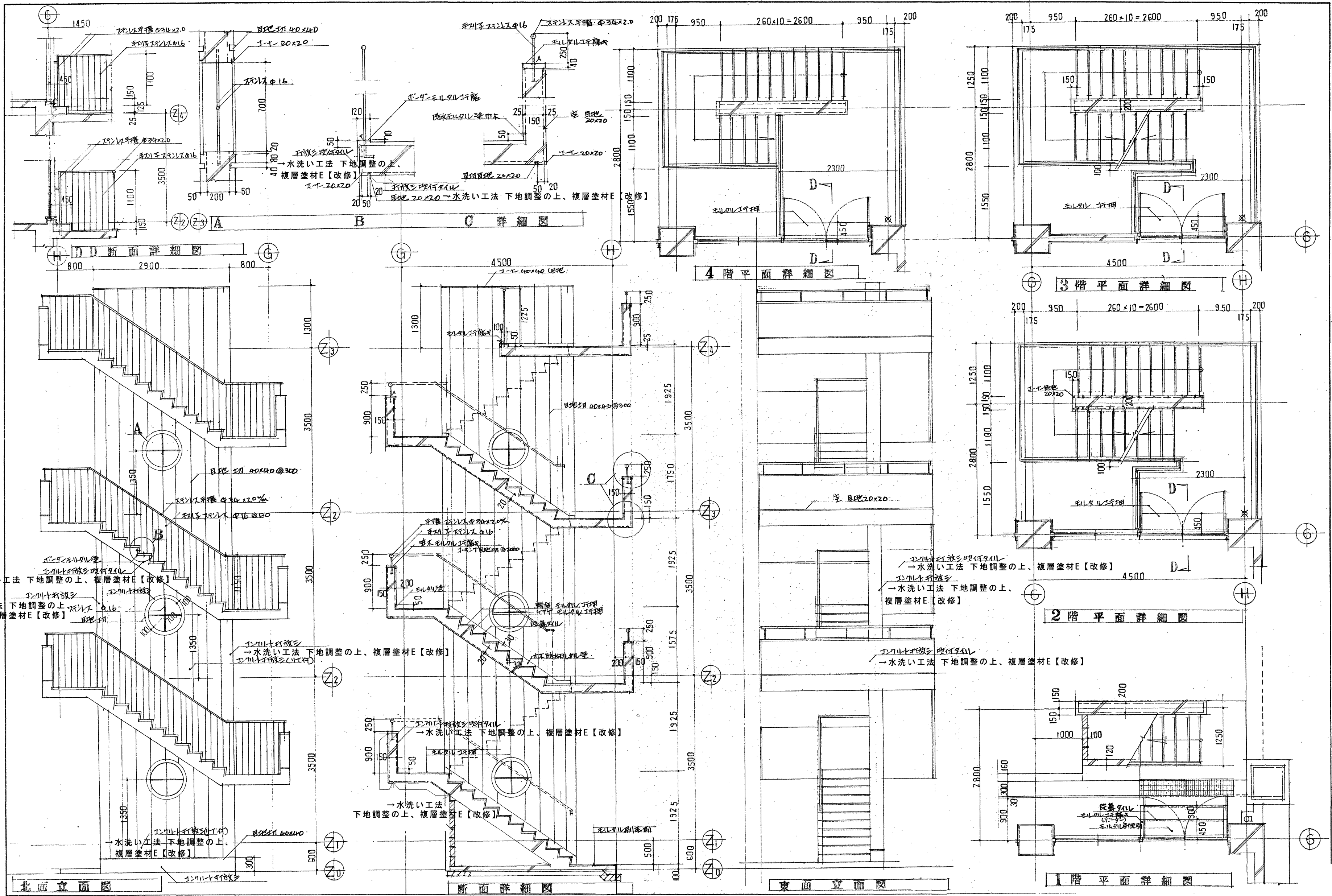
参考図



外部仕上表

記号	現況	改修
a	モルタル刷毛引き下地 外装薄塗材E	水洗い → 下地調整 → 複層塗材E【改修】
b	7&S製手摺 H=1,100	【既存のまま】
c	縦樋 ｶｰVPφ100【撤去】	たてどい ｶｰVPφ100(受金物共)【改修】
d	押出成形ﾍﾞｯｸﾞ板 複層塗材E	水洗い → 下地調整 → 複層塗材E【改修】
e	庇天端: 防水モﾙﾀﾙ押え ウレﾀﾝ塗膜防水	水洗い → 塗膜防水【改修】
f	ﾊﾞﾙｺｰ床: 防水モﾙﾀﾙ押え ウレﾀﾝ塗膜防水	水洗い → 塗膜防水【改修】
g	軒天: ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し 外装薄塗材E吹付	水洗い → 外装薄塗材E【改修】
h	軒天: ｷﾞﾗｰ刷毛引き 複層薄塗材E吹付	水洗い → 下地調整 → 複層塗材E【改修】
i	軒天: ｷﾞﾗｰ刷毛引き 外装薄塗材E吹付	水洗い → 下地調整 → 複層塗材E【改修】
j	根廻り: ｷﾞﾗｰ刷毛引き 外装薄塗材E・ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し	水洗い【改修】
k	ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	ｼｰﾘﾝｸﾞ新設 PU-2 (15×10)【改修】

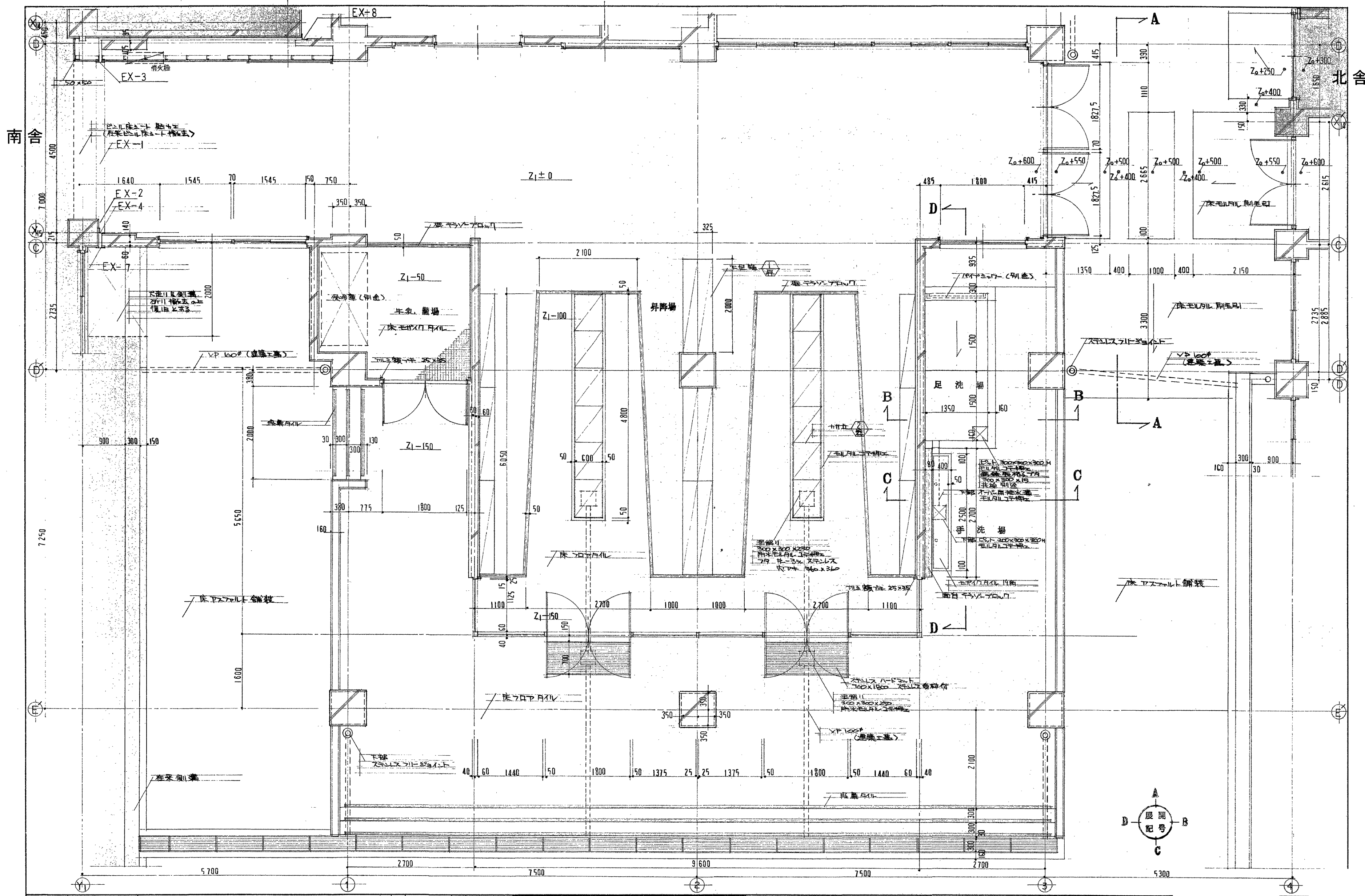
※ 外壁面既存ﾀﾞｲﾗﾝﾄﾞ、2重水切り部ｼｰﾘﾝｸﾞ【打替】: MS-2 (15×10)
 ※ 塗膜防水立上り部ｼｰﾘﾝｸﾞ【打替】: PU-2 (15×10)



※【 】無きものは既存のままとする。

高知市 都市建設部 公共建築課

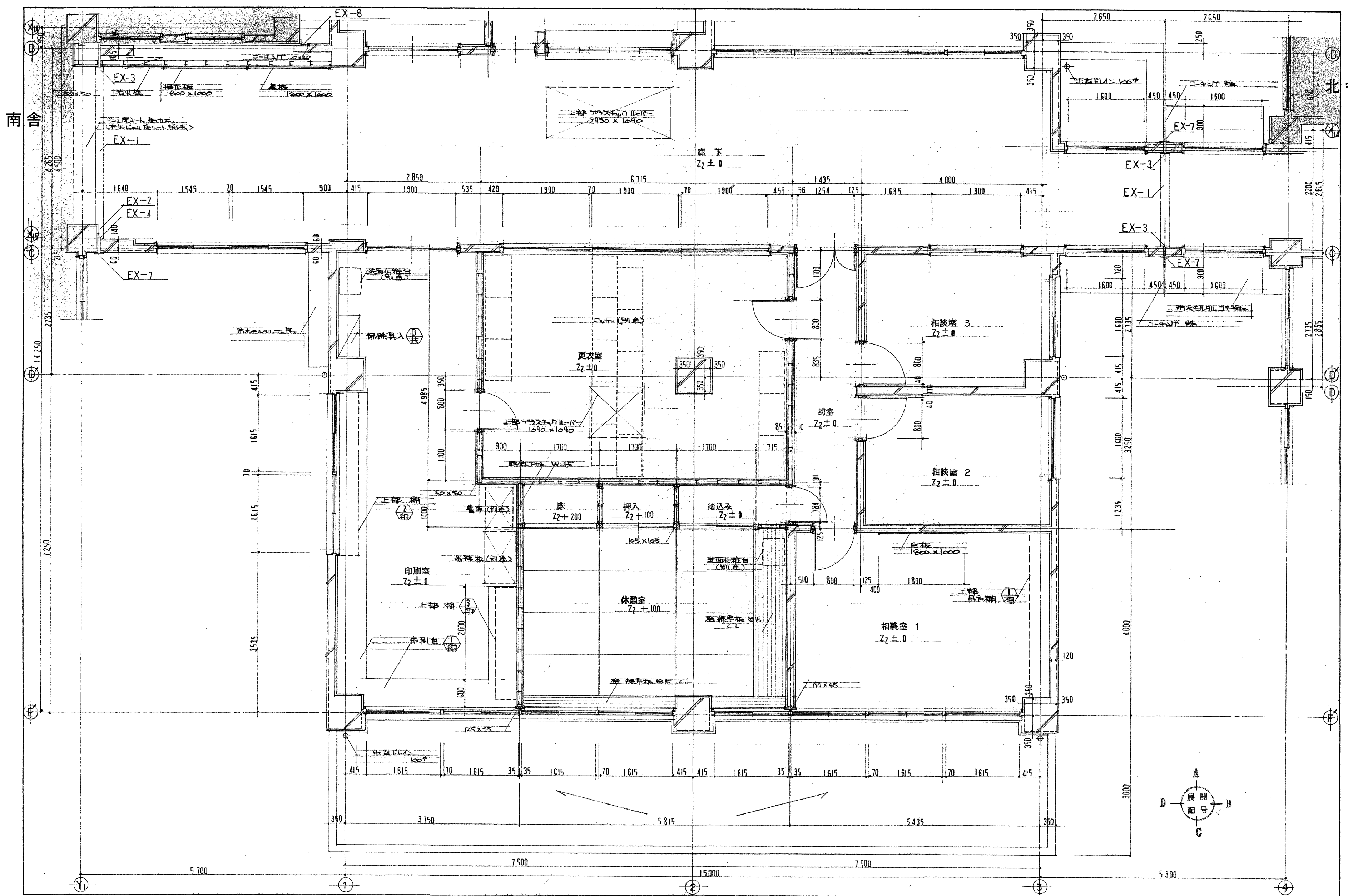
工事名	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
城北中学校北舎・昇降所棟外壁改修工事	大塚	山本	濱口	松本	A-18
図面名 北舎屋外階段詳細図	2025.04	縮尺	作図	年 月 日	



参考図

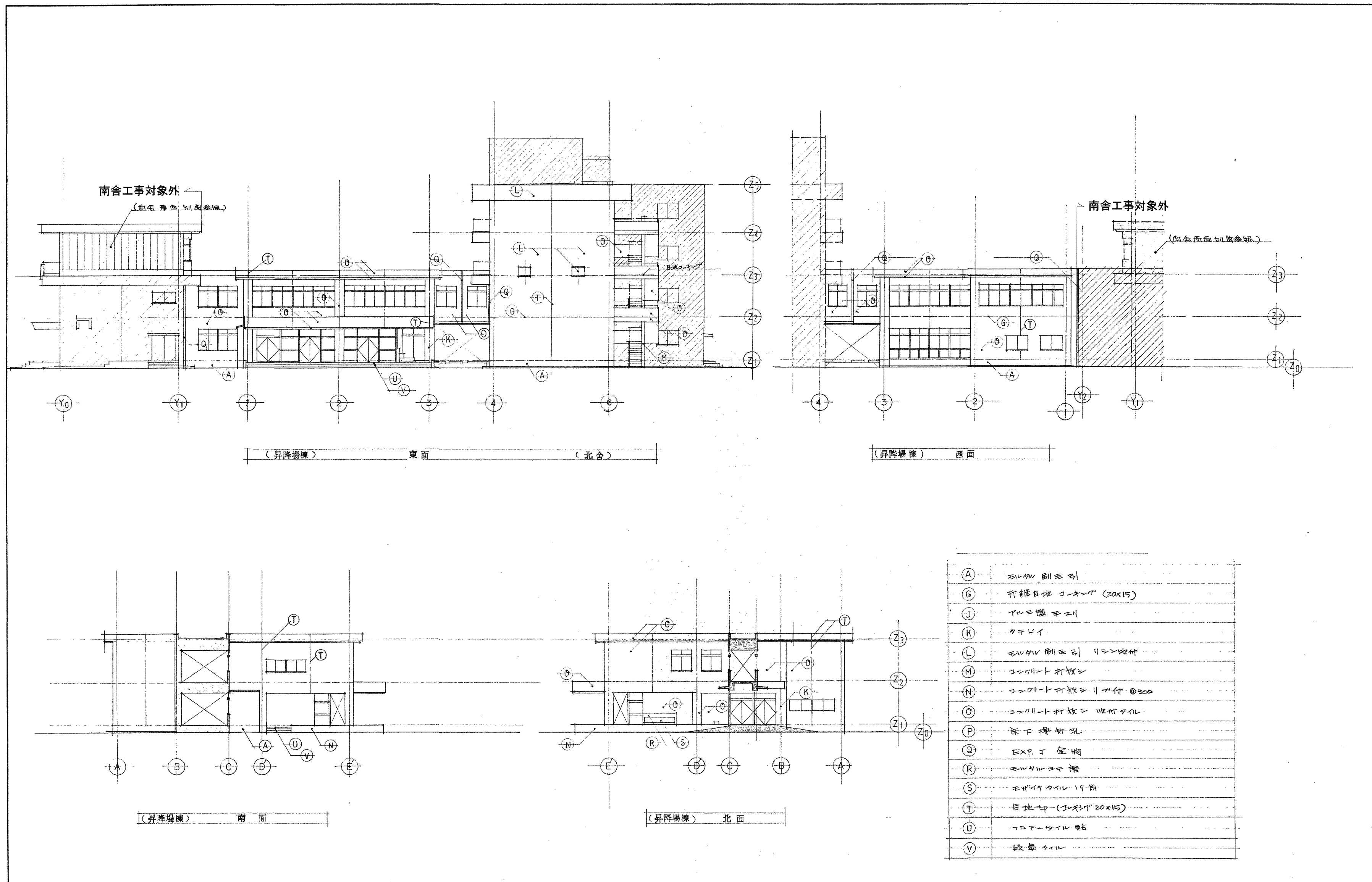
高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	城北中学校北舎・昇降所棟外壁改修工事	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
図面名	昇降所棟1階平面詳細図【参考図】2025.04 縮尺	作図	年	月	日	A-19



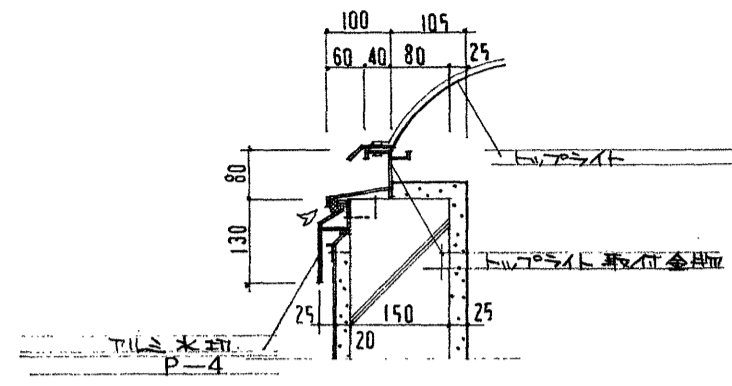
参考図

高知市 都市建設部 公共建築課		工事名	城北中学校北舎・昇降所棟外壁改修工事	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
		図面名	昇降所棟2階平面詳細図【参考図】	作図		年	月	日
			2025.04 縮尺					A-20

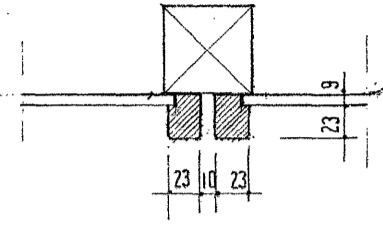


Ⓐ	珪藻土刷毛引
Ⓑ	打錫目地コーキング (20x15)
Ⓙ	アルミ製手すり
Ⓚ	タテロイ
Ⓛ	珪藻土刷毛引 1130mm幅
Ⓜ	コンクリート打放し
Ⓝ	コンクリート打放し リア付 ②200
Ⓞ	コンクリート打放し 吹付タイル
Ⓟ	床下換気孔
Ⓠ	EXP.J 缶帽
Ⓡ	珪藻土コーキング
Ⓢ	モザイクタイル 19角
Ⓣ	目地巾 (J-5) 20x15
Ⓤ	ローマタイル貼
Ⓥ	磁器タイル

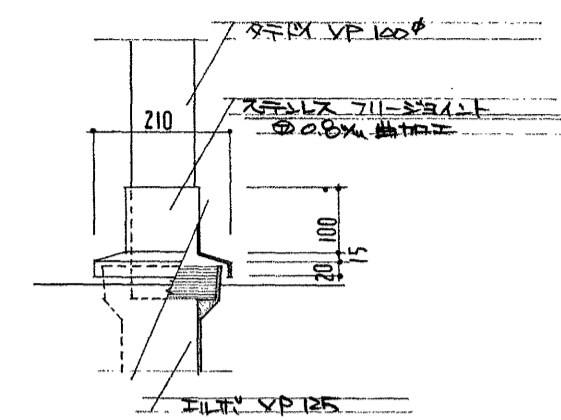
参考図



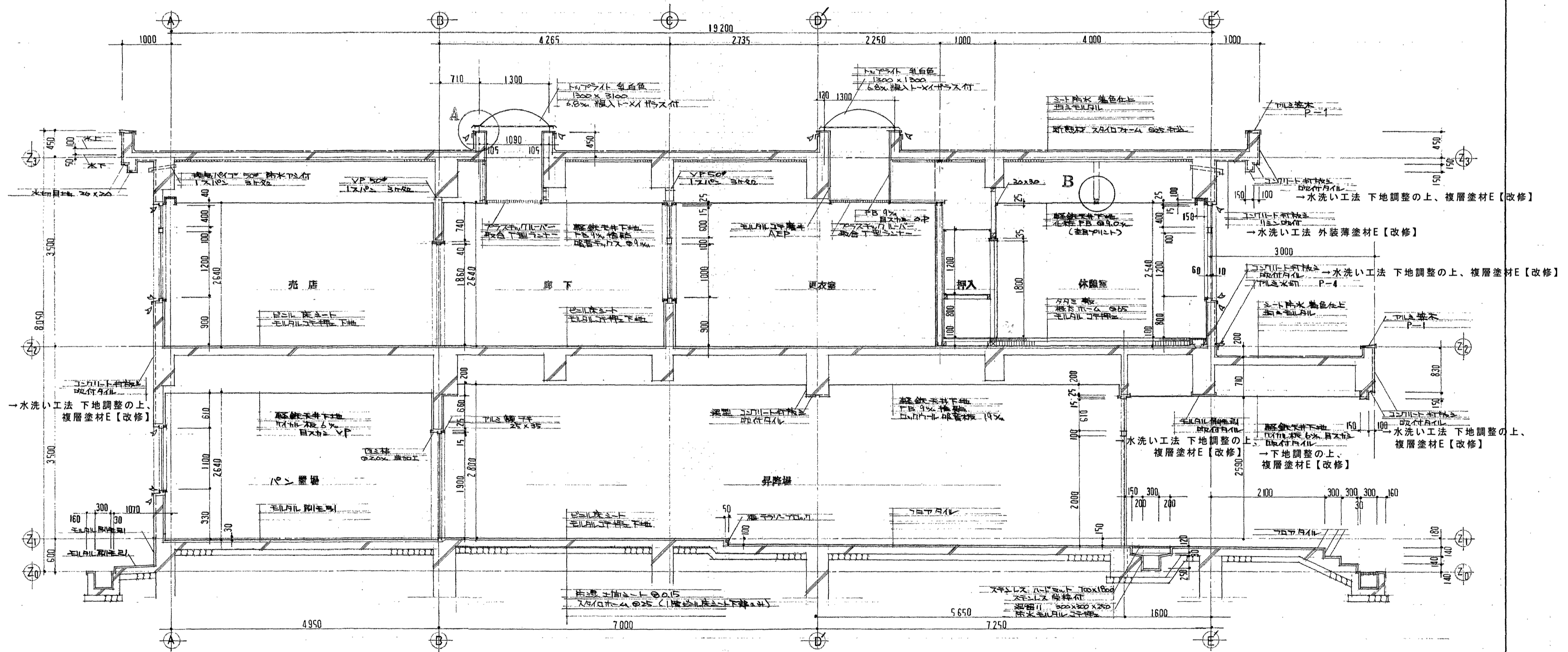
A 部分詳細図 1/10



B 部分詳細図 1/10

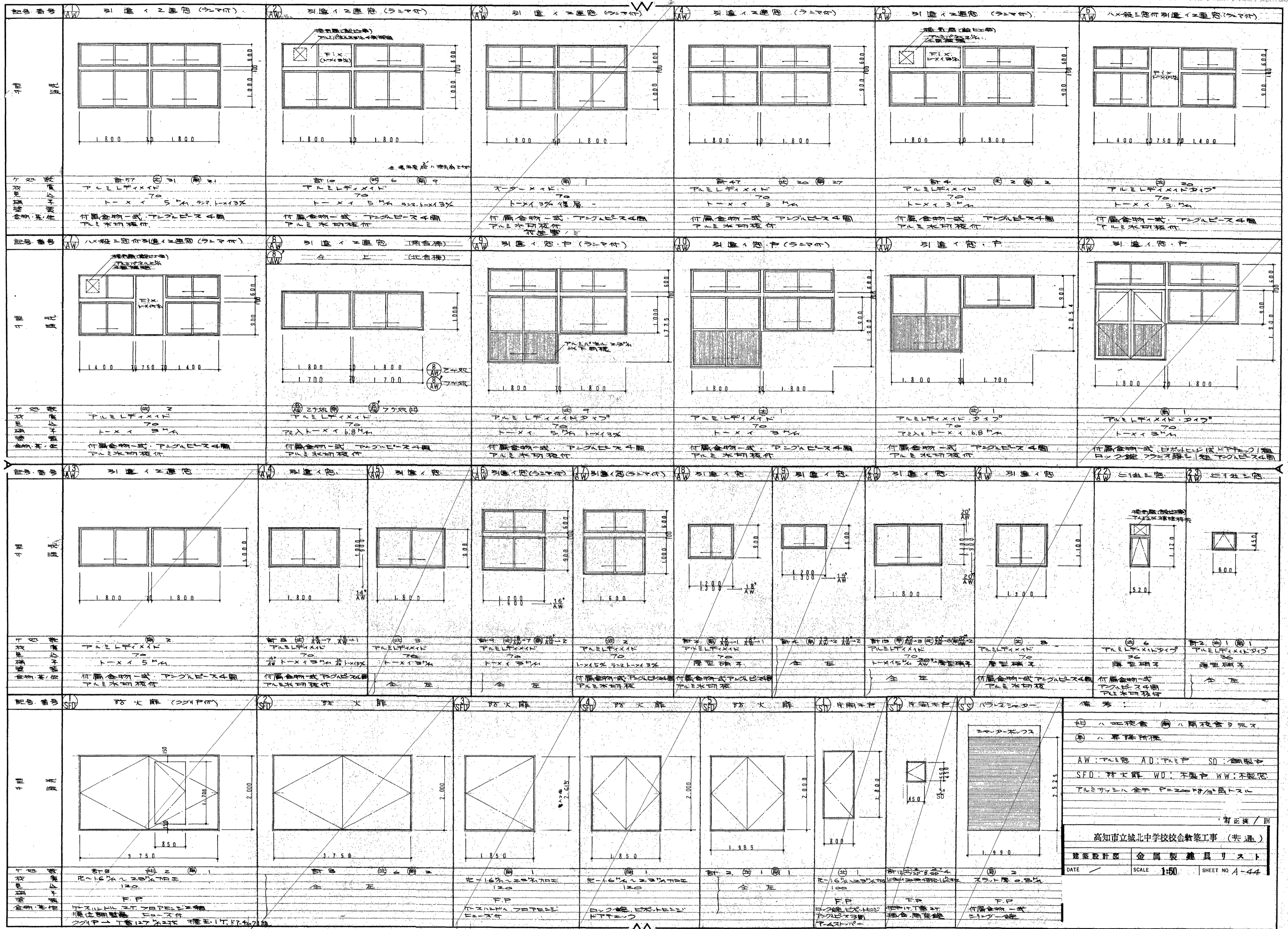


タイル水切 P-4 詳細図 1/10



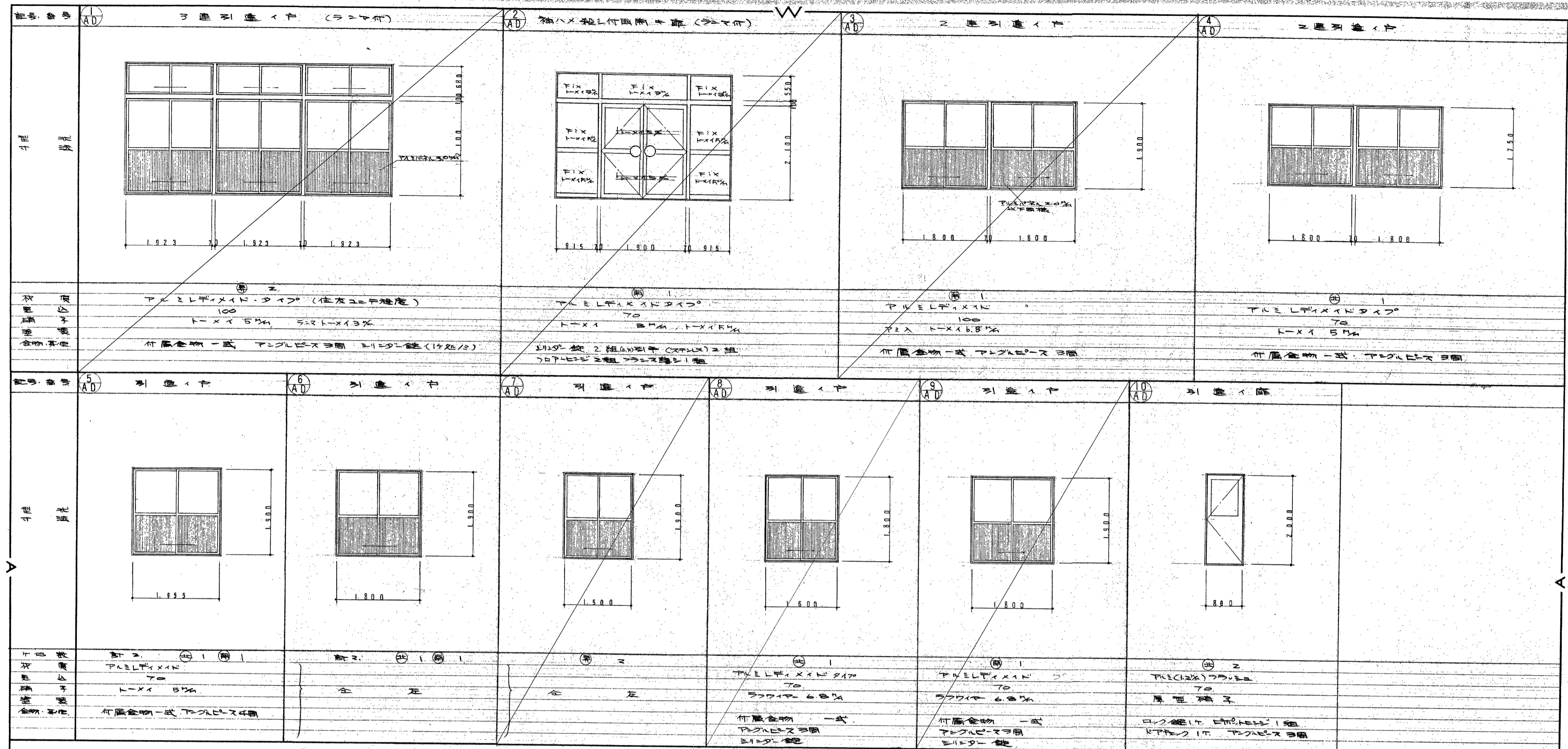
高知市 都市建設部 公共建築課

工事名	城北中学校北舎・昇降所棟外壁改修工事	係長	大塚	課長補佐	濱口	課長	松本	図面番号	A-22
図面名	昇降所棟断面詳細図	縮尺	2025.04	作図	年	月	日		



① 1層 固定 ② 1層 開閉 ③ 1層 固定 ④ 1層 開閉
 AW: ALUMINUM AD: ALUMINUM SD: 鋼製
 SFD: 防火扉 WW: 不燃戸 WW: 不燃窓
 TLR: サッシ全付 P=200kg/m²以下
 訂正済 / 所
 高知市立城北中学校校舎改築工事 (共通)
 建築設計 金属製建具リフト
 DATE / SCALE 1:50 SHEET NO A-44

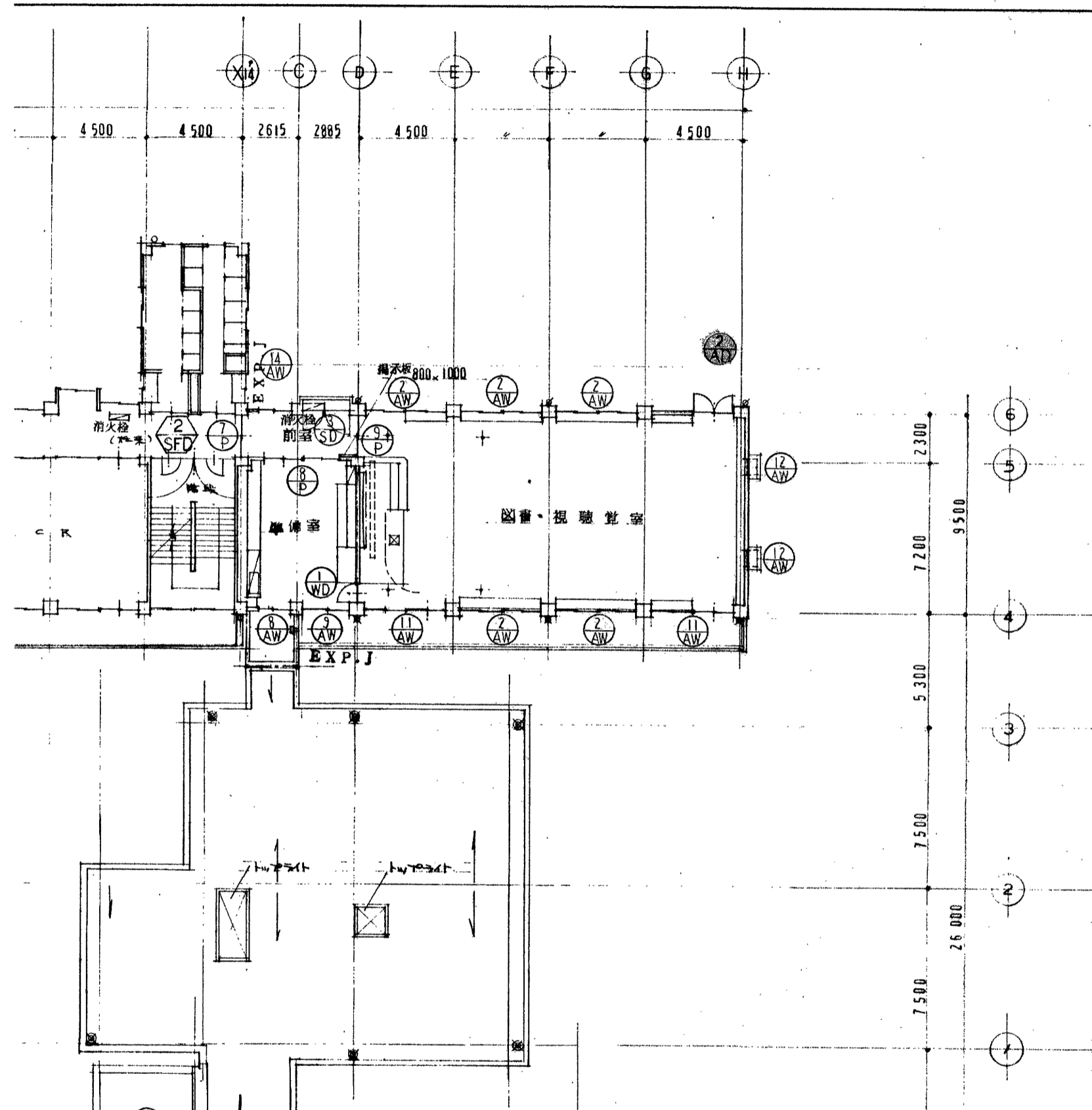
参考図



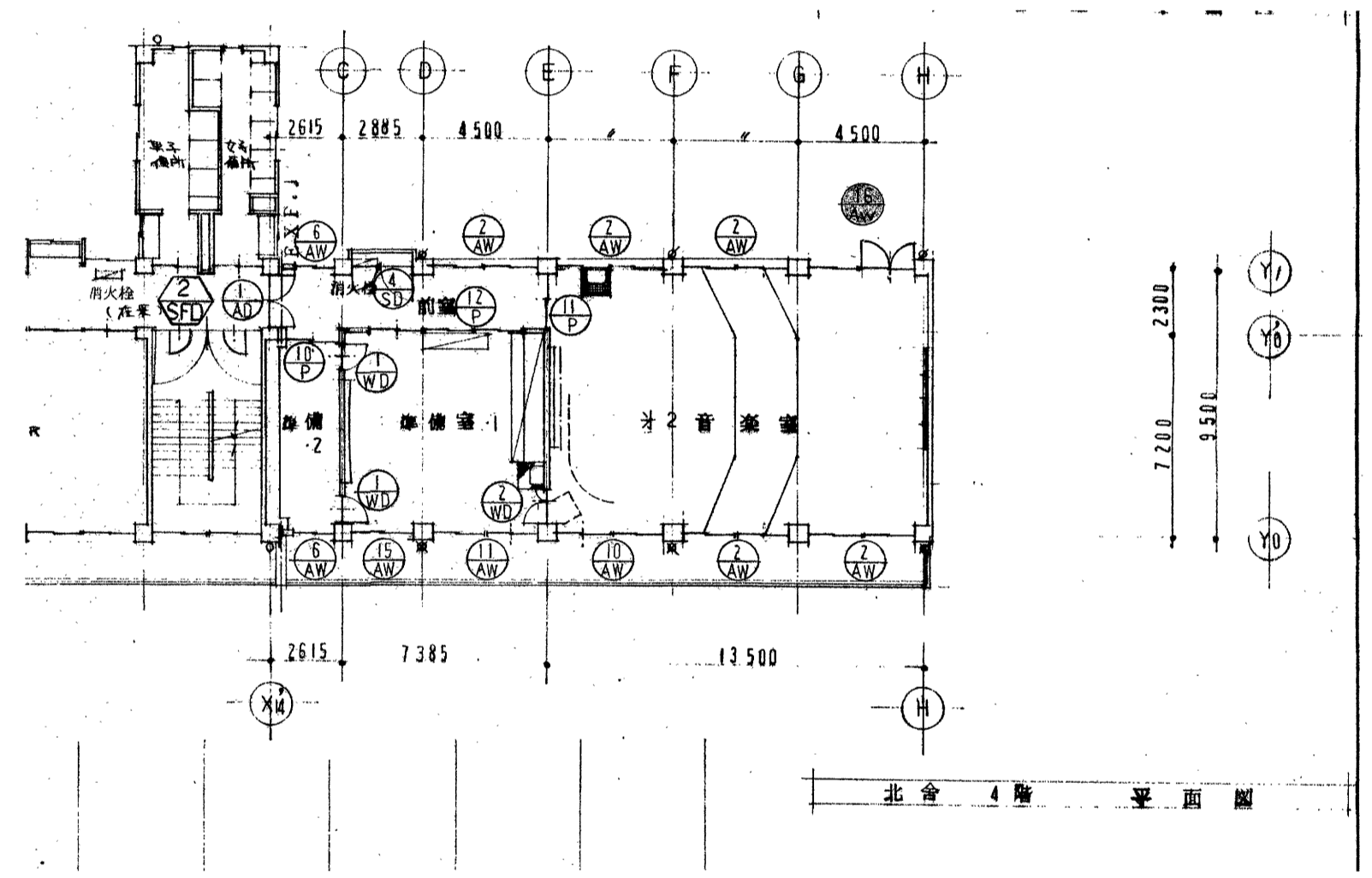
高知市立城北中学校校舎改修工事 (共通)			
建築設計図	金属製建具リスト	DATE	SCALE 1:50 SHEET NO A-45

参考図

建具配置図A-06.07参照	高知市 都市建設部 公共建築課	工事名 城北中学校北舎・昇降所棟外壁改修工事	係 係長	課長補佐	課長	図面番号 A-24
		図面名 北舎建具表2【参考図】	2025.04	縮尺	作図	年 月 日



北舎・昇降所棟3階建具配置図



北舎・昇降所棟4階建具配置図

参考図

				高知市 都市建設部 公共建築課		工事名 城北中学校北舎・昇降所棟外壁改修工事		係	係長	課長補佐	課長	図面番号 A-27
				図面名 北舎・昇降所棟建具配置図2【参考図】		2025.04 縮尺		作図		年 月 日		

配 号 数	① AW 3×4付引違窓 2	② AW 3×4付2連引違窓 22	③ AW 3×4付引違窓 1	④ AW 3×4付引違窓 1	⑤ AW 3×4付2連引違窓(両開) (2種取付)
窓 図					
見 込 率	70%	70%	70%	70%	70%
窓 材	3% L-XI	3% L-XI	5% L-XI	3% L-XI	6.8% 縦入L-XI付 腰下L-XI付 3.0% L-XI
材 料	ALU	ALU	ALU	ALU 腰下L-XI付 3.0% L-XI	ALU
建 具 金 物	サッシ金物一式 二重水切	サッシ金物一式 二重水切	サッシ金物一式 二重水切	サッシ金物一式 下排水ステンレス	サッシ金物一式 二重水切 凸鏡、T型金物 下排水ステンレス 両開(1800) ドアロック2ヶ所
配 号 数	⑥ AW 3×4付引違窓 4	⑦ AW 3×4付引違窓 2	⑧ AW 引違窓 1	⑨ AW 引違窓 1	⑩ AW 3×4付2連引違窓 1
窓 図					
見 込 率	70%	70%	70%	70%	70%
窓 材	3% L-XI	3% L-XI	5% L-XI	5% L-XI	3% L-XI
材 料	ALU	ALU	ALU	ALU	ALU 腰下L-XI付 3.0% L-XI
建 具 金 物	サッシ金物一式 二重水切	サッシ金物一式 二重水切	サッシ金物一式 二重水切	サッシ金物一式 二重水切	サッシ金物一式 二重水切 下排水ステンレス
配 号 数	⑪ AW 3×4付2連引違窓 3	⑫ AW サッシ 2	⑬ AW 3×4付引違窓(両開) (2種取付)	⑭ AW 引違窓 1	⑮ AW 3×4付引違窓 1
窓 図					
見 込 率	70%	70%	70%	70%	70%
窓 材	3% L-XI		6.8% 縦入L-XI付 腰下L-XI付 3.0% L-XI	5% L-XI	3% L-XI
材 料	ALU 腰下L-XI付 3.0% L-XI	ALU 可動 ALU付	ALU	ALU	ALU
建 具 金 物	サッシ金物一式 二重水切 下排水ステンレス	サッシ金物一式	サッシ金物一式 二重水切 凸鏡 両開(2種) 下排水ステンレス T型金物 ドアロック2ヶ所	サッシ金物一式 二重水切	サッシ金物一式 二重水切

参考図

配 号 数 量	①AW ガラス付二重引違い窓 (2種防火戸)	②AW ガラス付二重引違い窓	③AD ガラス付両開戸	④AD ガラス引違い付両開戸 (2種防火戸)
窓 図				
見 込 ミ	70%	70%	70%	70%
塗 装	白	白	白	白
ガ ラ ス	6.8% 複入トキイ付 断熱・UVカット 30%カット	3% トキイ	6.8% 複入トキイ (中央) 8% トキイ (両側)	6.8% 複入トキイ付 断熱・UVカット 30%カット
材 料	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ
建 具 金 物	付属金物一式 三重水栓 ロック錠 F型水栓ハンドル 付属金物一式 三重水栓	付属金物一式 三重水栓	付属金物一式 付属金物一式 付属金物一式	付属金物一式 ロック錠 付属金物一式 付属金物一式 付属金物一式
配 号 数 量	⑤SD 真横扉	⑥SD 真横扉	⑦SD 真横扉	⑧SD ガラス付引違い窓 (2種防火戸)
窓 図				
見 込 ミ	FE	FE	FE	70%
塗 装	FE	FE	FE	FE
ガ ラ ス	スチールガラス	スチールガラス	スチールガラス	6.8% 複入トキイ付 断熱・UVカット 30%カット
材 料	スチール	スチール	スチール	アルミ
建 具 金 物	付属金物一式 ステンレス丁番3枚付	付属金物一式 ステンレス丁番3枚付	付属金物一式 ステンレス丁番3枚付	付属金物一式 付属金物一式
配 号 数 量	⑨		⑩P アルミ 学校用仕切	⑪P アルミ 学校用仕切
窓 図				
見 込 ミ			70%	70%
塗 装			SP	SP
ガ ラ ス			3% トキイ (中央)	3% トキイ (中央)
材 料			付属金物一式 付属金物一式	付属金物一式 付属金物一式
建 具 金 物			付属金物一式 付属金物一式	付属金物一式 付属金物一式

参考図

配 号 数 量	⑤① AW	⑤② AW	⑤③ AW	⑤④ AW
	⑤① AW	⑤② AW	⑤③ AW	⑤④ AW
	⑤① AW	⑤② AW	⑤③ AW	⑤④ AW
	⑤① AW	⑤② AW	⑤③ AW	⑤④ AW
見 込 ミ	70%	70%	70%	70%
	⑤① AW	⑤② AW	⑤③ AW	⑤④ AW
	⑤① AW	⑤② AW	⑤③ AW	⑤④ AW
	⑤① AW	⑤② AW	⑤③ AW	⑤④ AW
材 質	⑤① AW	⑤② AW	⑤③ AW	⑤④ AW
	⑤① AW	⑤② AW	⑤③ AW	⑤④ AW
	⑤① AW	⑤② AW	⑤③ AW	⑤④ AW
	⑤① AW	⑤② AW	⑤③ AW	⑤④ AW
建 具 金 物	⑤① AW	⑤② AW	⑤③ AW	⑤④ AW
	⑤① AW	⑤② AW	⑤③ AW	⑤④ AW
	⑤① AW	⑤② AW	⑤③ AW	⑤④ AW
	⑤① AW	⑤② AW	⑤③ AW	⑤④ AW
配 号 数 量	⑤⑤ AW	⑤⑥ AW	⑤⑦ AW	⑤⑧ AW
	⑤⑤ AW	⑤⑥ AW	⑤⑦ AW	⑤⑧ AW
	⑤⑤ AW	⑤⑥ AW	⑤⑦ AW	⑤⑧ AW
	⑤⑤ AW	⑤⑥ AW	⑤⑦ AW	⑤⑧ AW
見 込 ミ	70%	70%	70%	70%
	⑤⑤ AW	⑤⑥ AW	⑤⑦ AW	⑤⑧ AW
	⑤⑤ AW	⑤⑥ AW	⑤⑦ AW	⑤⑧ AW
	⑤⑤ AW	⑤⑥ AW	⑤⑦ AW	⑤⑧ AW
材 質	⑤⑤ AW	⑤⑥ AW	⑤⑦ AW	⑤⑧ AW
	⑤⑤ AW	⑤⑥ AW	⑤⑦ AW	⑤⑧ AW
	⑤⑤ AW	⑤⑥ AW	⑤⑦ AW	⑤⑧ AW
	⑤⑤ AW	⑤⑥ AW	⑤⑦ AW	⑤⑧ AW
建 具 金 物	⑤⑤ AW	⑤⑥ AW	⑤⑦ AW	⑤⑧ AW
	⑤⑤ AW	⑤⑥ AW	⑤⑦ AW	⑤⑧ AW
	⑤⑤ AW	⑤⑥ AW	⑤⑦ AW	⑤⑧ AW
	⑤⑤ AW	⑤⑥ AW	⑤⑦ AW	⑤⑧ AW
配 号 数 量	⑤⑨ AW	⑤⑩ AW	⑤⑪ AW	⑤⑫ AW
	⑤⑨ AW	⑤⑩ AW	⑤⑪ AW	⑤⑫ AW
	⑤⑨ AW	⑤⑩ AW	⑤⑪ AW	⑤⑫ AW
	⑤⑨ AW	⑤⑩ AW	⑤⑪ AW	⑤⑫ AW
見 込 ミ	70%	70%	70%	70%
	⑤⑨ AW	⑤⑩ AW	⑤⑪ AW	⑤⑫ AW
	⑤⑨ AW	⑤⑩ AW	⑤⑪ AW	⑤⑫ AW
	⑤⑨ AW	⑤⑩ AW	⑤⑪ AW	⑤⑫ AW
材 質	⑤⑨ AW	⑤⑩ AW	⑤⑪ AW	⑤⑫ AW
	⑤⑨ AW	⑤⑩ AW	⑤⑪ AW	⑤⑫ AW
	⑤⑨ AW	⑤⑩ AW	⑤⑪ AW	⑤⑫ AW
	⑤⑨ AW	⑤⑩ AW	⑤⑪ AW	⑤⑫ AW
建 具 金 物	⑤⑨ AW	⑤⑩ AW	⑤⑪ AW	⑤⑫ AW
	⑤⑨ AW	⑤⑩ AW	⑤⑪ AW	⑤⑫ AW
	⑤⑨ AW	⑤⑩ AW	⑤⑪ AW	⑤⑫ AW
	⑤⑨ AW	⑤⑩ AW	⑤⑪ AW	⑤⑫ AW

参考図

配 号 数 量	51 AD 70% 複 Fix 付 両開戸	52 AD 70% Fix 付 両開戸			
概 図					
見 込 ミ	70%	70%			
装 着	6.8% 複入1-X1	6.8% 複入1-X1			
ガ ラ ス	7mm	7mm			
材 料	付屋金物一式、70%複入、70%複入、SILICON 本塗装	付屋金物一式、70%複入、70%複入、SILICON 本塗装			
建 具 金 物	付屋金物一式、70%複入、70%複入、SILICON 本塗装	付屋金物一式、70%複入、70%複入、SILICON 本塗装			
配 号 数 量	53 P 70% 学校両開戸	54 P 70% 学校両開戸	55 P 70% 学校両開戸	56 P 70% 学校両開戸	57 P 70% 学校両開戸
概 図					
見 込 ミ	70%	70%	70%	70%	70%
装 着	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%	2.0%
ガ ラ ス	4% 複	4% 複	4% 複	4% 複	4% 複
材 料	複合格付4%70%複、70%複付	複合格付4%70%複、70%複付	複合格付4%70%複、70%複付	複合格付4%70%複、70%複付	複合格付4%70%複、70%複付
建 具 金 物	付屋金物一式、複層ガラス20%複付	付屋金物一式、複層ガラス20%複付	付屋金物一式、複層ガラス20%複付	付屋金物一式、複層ガラス20%複付	付屋金物一式、複層ガラス20%複付
配 号 数 量	58 P 70% 学校両開戸				
概 図					
見 込 ミ	70%				
装 着	4% 複				
ガ ラ ス	3% L-X1 (322)				
材 料	付屋金物一式				
建 具 金 物	付屋金物一式				

参考図